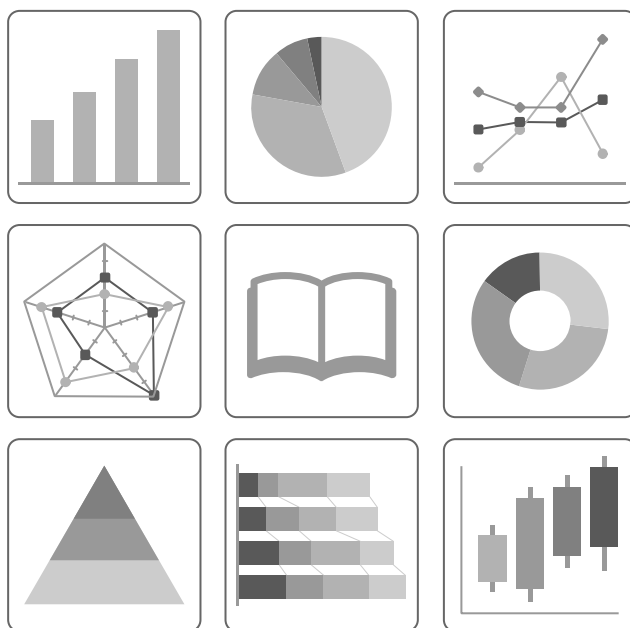


瑞穂市
人権に関する市民意識アンケート調査
調査結果報告書



令和 4 年 7 月

瑞 穂 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果.....	2
(1)	回答者属性.....	2
(2)	人権全般についてお聞きします。	4
(3)	女性の人権についてお聞きします。	12
(4)	子どもの人権についてお聞きします。	18
(5)	高齢者の人権についてお聞きします。	25
(6)	障がいのある人の人権についてお聞きします。	30
(7)	部落差別（同和問題）についてお聞きします。	35
(8)	アイヌの人たちの人権についてお聞きします。	41
(9)	国内に暮らす外国の人たちの人権についてお聞きします。	43
(10)	感染症患者（新型コロナウイルス感染症、エイズ等）の人権についてお聞きします。 ..	47
(11)	ハンセン病元患者の人権についてお聞きします。	50
(12)	刑を終えて出所した人の人権についてお聞きします。	52
(13)	犯罪被害者とその家族の人権についてお聞きします。	56
(14)	インターネット上の人権侵害についてお聞きします。	58
(15)	ホームレスの人権についておたずねします。	63
(16)	性的少数者の人権についておたずねします。	65
(17)	人権教育・人権啓発の方法についておたずねします。	69

I 調査の概要

1 調査の目的

市民の皆様のご意見が今後の施策に反映されるようにするため、また人権に関する考え方を把握し、今後の人権に係る施策を推進するうえでの基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

瑞穂市在住の 18 歳以上を無作為抽出

3 調査期間

令和 3 年 11 月 29 日から令和 3 年 12 月 22 日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
市民	2,000 通	644 通	32.2%

6 調査結果の表示方法

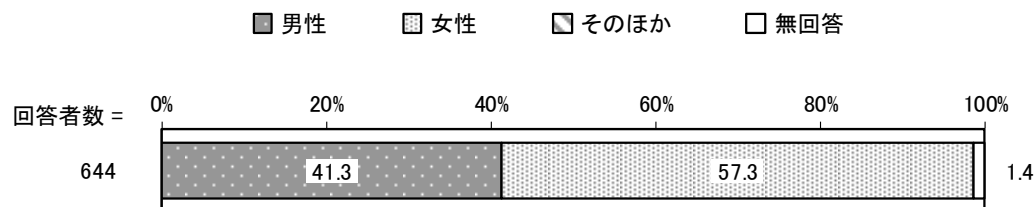
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が 1 桁の場合、回答件数による表記としています。

Ⅱ 調査結果

(1) 回答者属性

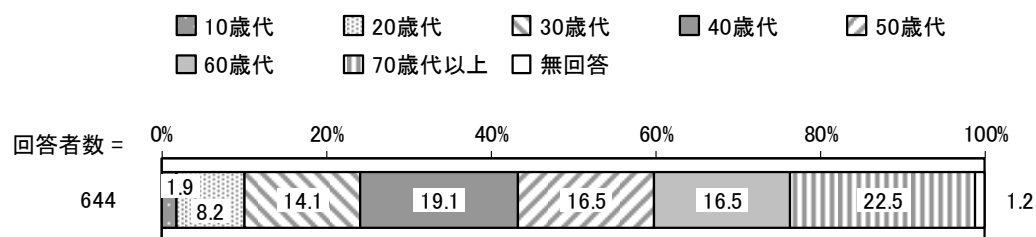
問1 あなたの性別の番号に○をつけてください。

「女性」の割合が57.3%と最も高く、次いで「男性」の割合が41.3%となっています。



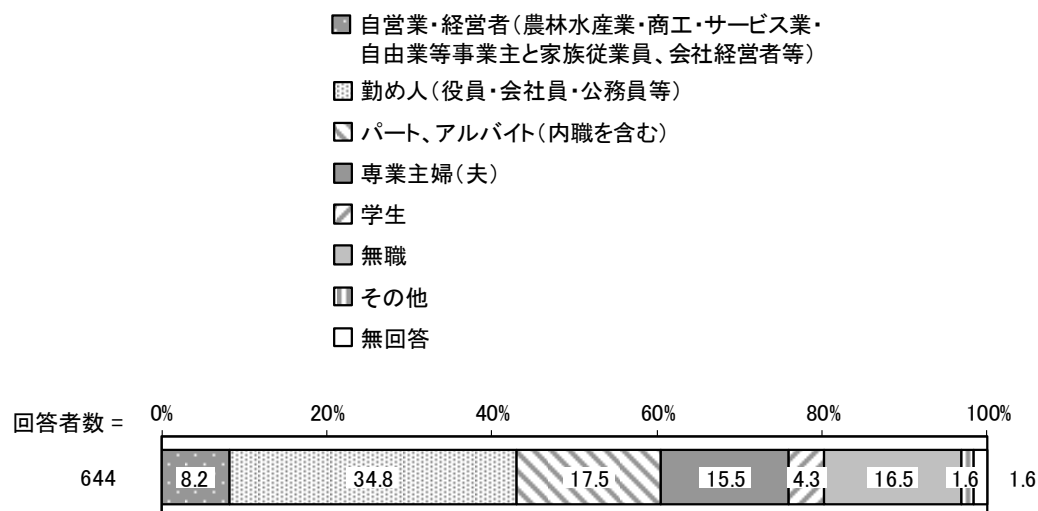
問2 あなたの年齢の番号に○をつけてください。

「70歳代以上」の割合が22.5%と最も高く、次いで「40歳代」の割合が19.1%、「50歳代」、「60歳代」の割合が16.5%となっています。



問3 あなたの職業等についてあてはまる番号に○をつけてください。(○は1つまで)

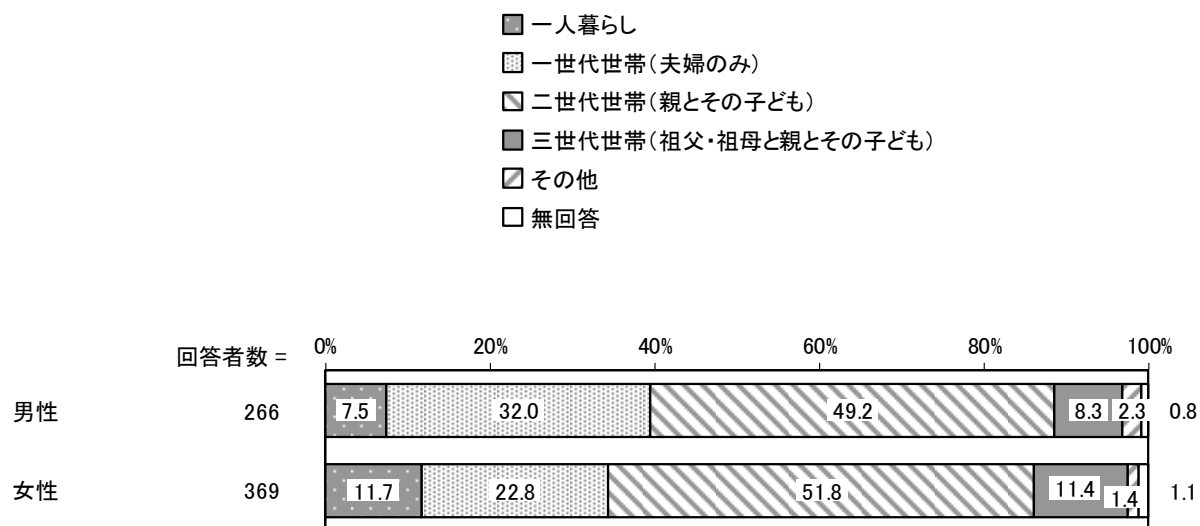
「勤め人(役員・会社員・公務員等)」の割合が34.8%と最も高く、次いで「パート、アルバイト(内職を含む)」の割合が17.5%、「無職」の割合が16.5%となっています。



問4 あなたの家族構成についてあてはまる番号に○をつけてください。
(○は1つまで)

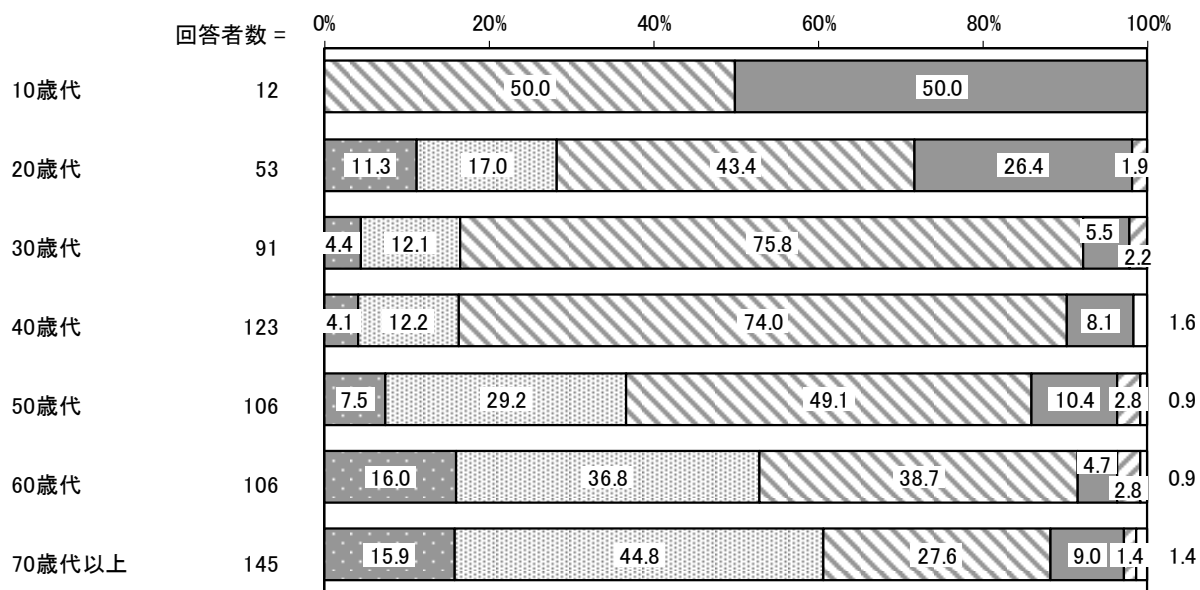
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「一世代世帯（夫婦のみ）」の割合が高くなっています。



【年齢別】

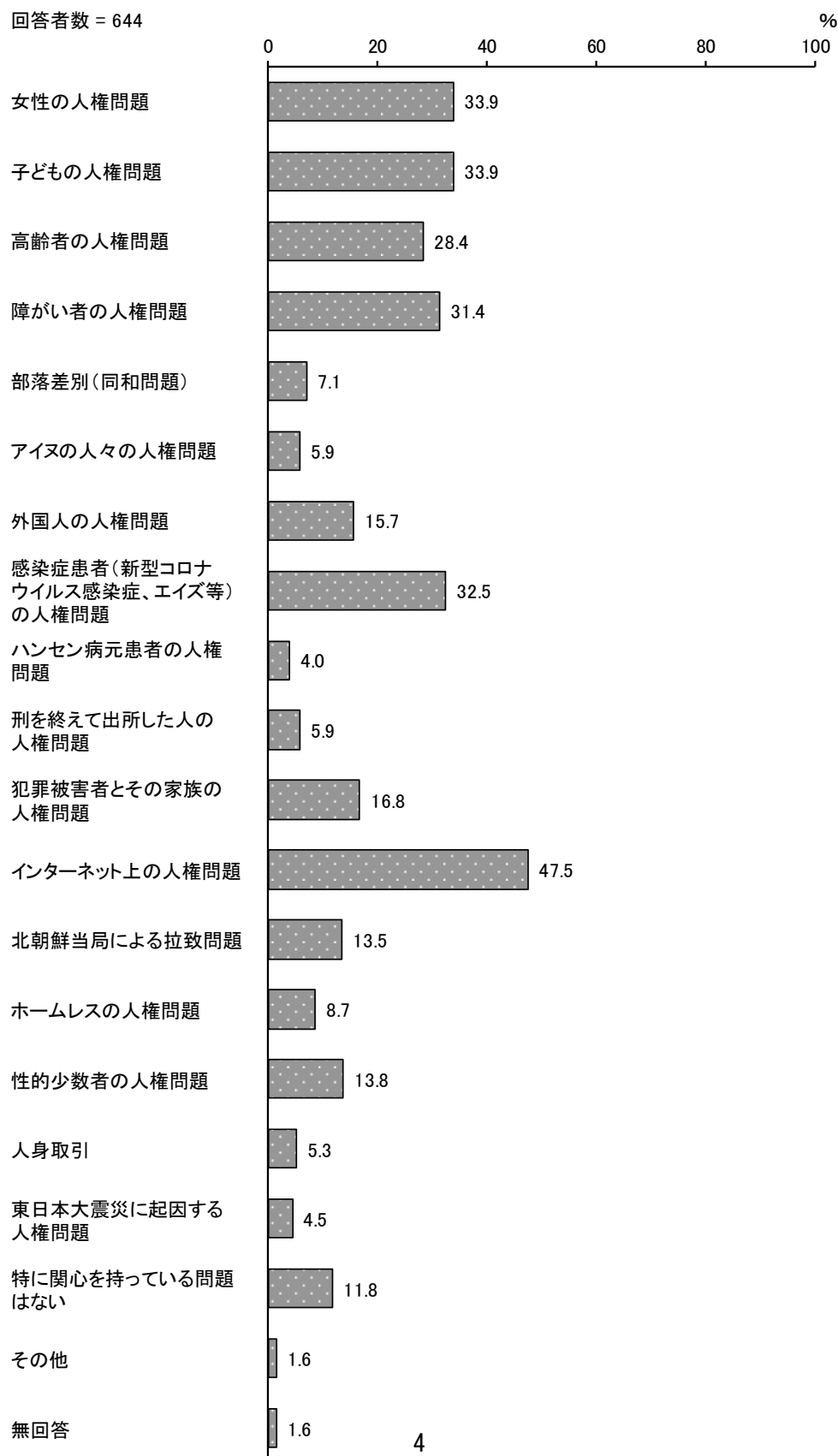
年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「三世世代世帯（祖父・祖母と親とその子ども）」の割合が、70歳代以上で「一世代世帯（夫婦のみ）」の割合が高くなっています。



（２）人権全般についてお聞きします。

問５ 以下にあげた各人権問題の中で、あなたが現在関心をもっているものはどの問題ですか。（あてはまるものすべてに○）

「インターネット上の人権問題」の割合が47.5%と最も高く、次いで「女性の人権問題」、「子どもの人権問題」の割合が33.9%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「女性の人権問題」「高齢者の人権問題」「性的少数者の人権問題」の割合、が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	女性の人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	障がい者の人権問題	部落差別（同和問題）	アイヌの人々の人権問題	外国人の人権問題	感染症患者（新型コロナウイルス感染症、エイズ等）の人権問題	ハンセン病元患者の人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題
男性	266	24.1	32.7	25.9	31.2	7.9	6.4	17.7	33.5	3.4	4.5
女性	369	41.5	35.5	30.9	32.2	6.8	5.7	14.6	32.5	4.6	7.0

区分	犯罪被害者とその家族の人権問題	インターネット上の人権問題	北朝鮮当局による拉致問題	ホームレスの人権問題	性的少数者の人権問題	人身取引	東日本大震災に起因する人権問題	特に関心を持っている問題はない	その他	無回答
男性	15.4	49.2	12.0	7.9	10.5	4.9	3.4	13.2	1.5	0.4
女性	18.2	47.4	14.6	9.2	16.5	5.7	5.4	11.1	1.4	0.8

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10 歳代で「部落差別（同和問題）」「外国人の人権問題」「感染症患者（新型コロナウイルス感染症、エイズ等）の人権問題」「刑を終えて出所した人の人権問題」「性的少数者の人権問題」「人身取引」の割合が、20 歳代で「女性の人権問題」の割合が高くなっています。また、30 歳代で「子どもの人権問題」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	女性の人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	障がい者の人権問題	部落差別（同和問題）	アイヌの人々の人権問題	外国人の人権問題	感染症患者（新型コロナウイルス感染症、エイズ等）の人権問題	ハンセン病元患者の人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題
10 歳代	12	41.7	41.7	8.3	50.0	16.7	8.3	41.7	41.7	8.3	25.0
20 歳代	53	49.1	30.2	17.0	39.6	5.7	3.8	32.1	24.5	—	13.2
30 歳代	91	36.3	50.5	13.2	27.5	9.9	5.5	24.2	35.2	3.3	6.6
40 歳代	123	31.7	39.0	17.9	30.1	7.3	8.9	12.2	36.6	4.1	4.9
50 歳代	106	32.1	28.3	22.6	25.5	2.8	4.7	12.3	34.0	1.9	2.8
60 歳代	106	34.0	27.4	44.3	36.8	7.5	5.7	16.0	31.1	4.7	4.7
70 歳代以上	145	30.3	30.3	46.2	32.4	8.3	5.5	7.6	31.0	6.9	4.8

区分	犯罪被害者とその家族の人権問題	インターネット上の人権問題	北朝鮮当局による拉致問題	ホームレスの人権問題	性的少数者の人権問題	人身取引	東日本大震災に起因する人権問題	特に関心を持っている問題はない	その他	無回答
10 歳代	25.0	41.7	25.0	16.7	41.7	16.7	—	8.3	—	—
20 歳代	13.2	49.1	5.7	15.1	34.0	1.9	3.8	13.2	1.9	—
30 歳代	13.2	54.9	8.8	8.8	19.8	4.4	2.2	6.6	2.2	—
40 歳代	20.3	53.7	8.9	2.4	14.6	8.9	4.1	10.6	0.8	—
50 歳代	20.8	49.1	13.2	5.7	5.7	5.7	4.7	14.2	0.9	—
60 歳代	15.1	45.3	15.1	7.5	10.4	2.8	5.7	12.3	2.8	0.9
70 歳代以上	15.9	40.0	22.1	13.1	9.0	4.8	6.2	14.5	1.4	2.1

【人権啓発講演会の参加度別】

人権啓発講演会の参加度別でみると、他に比べ、自らの意思で時々参加したで、「子どもの人権問題」「高齢者の人権問題」の割合が、関心がないので、参加したことがないで、「特に関心を持っている問題はない」の割合が高くなっています。

単位：％

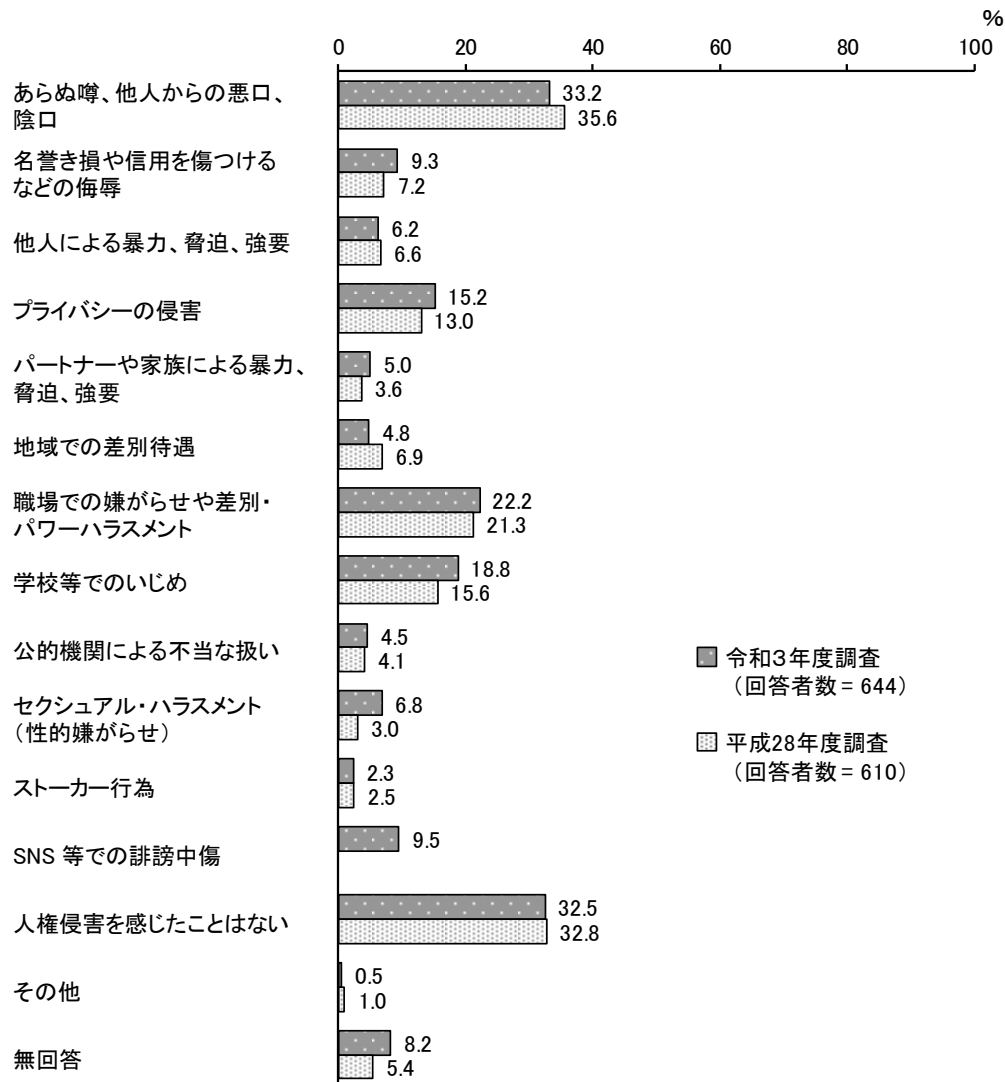
区分	回答者数（件）	女性の人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	障がい者の人権問題	部落差別（同和問題）	アイヌの人々の人権問題	外国人の人権問題	感染症患者（新型コロナウイルス感染症、エイズ等）の人権問題	ハンセン病元患者の人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題
自らの意思で数多く参加した	4	25.0	50.0	25.0	50.0	—	—	—	25.0	—	—
自らの意思で時々参加した	21	42.9	61.9	52.4	47.6	23.8	28.6	28.6	38.1	23.8	23.8
関心はあるが、参加したことはない	177	34.5	39.0	35.6	41.2	11.9	7.3	18.1	40.1	7.3	6.8
関心がないので、参加したことがない	129	21.7	20.2	17.1	19.4	0.8	1.6	7.8	27.9	—	2.3
講演会自体を知らなかった	292	38.7	34.9	26.7	29.1	5.8	5.1	17.8	30.5	2.4	5.5

区分	犯罪被害者とその家族の人権問題	インターネット上の人権問題	北朝鮮当局による拉致問題	ホームレスの人権問題	性的少数者の人権問題	人身取引	東日本大震災に起因する人権問題	特に関心を持っていない問題はない	その他	無回答
自らの意思で数多く参加した	—	25.0	—	—	25.0	—	—	—	25.0	—
自らの意思で時々参加した	28.6	66.7	23.8	23.8	33.3	9.5	23.8	4.8	9.5	—
関心はあるが、参加したことはない	23.7	52.5	13.6	14.1	15.3	5.6	5.6	4.0	0.6	0.6
関心がないので、参加したことがない	10.9	32.6	13.2	3.1	7.0	5.4	3.1	27.9	1.6	2.3
講演会自体を知らなかった	14.7	51.4	13.7	7.2	14.4	4.5	3.1	9.9	1.0	1.7

問6 あなたは、これまでにどのような人権侵害を感じたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回は、「SNS 等での誹謗中傷」の選択肢がありませんでした。

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「人権侵害を感じたことはない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	陰口、あらぬ噂、他人からの悪口、陰口	名誉き損や信用を傷つけるなどの侮辱	他人による暴力、脅迫、強要	プライバシーの侵害	パートナーや家族による暴力、脅迫、強要	地域での差別待遇	職場での嫌がらせや差別・パワーハラスメント	学校等でのいじめ	公的機関による不当な扱い	セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）	ストーカー行為	SNS等での誹謗中傷	人権侵害を感じたことはない	その他	無回答
男性	266	30.1	10.2	7.9	15.8	3.0	3.4	21.4	17.7	3.8	2.3	0.4	10.5	36.5	0.4	6.8
女性	369	36.0	8.9	4.9	15.2	6.5	5.7	23.0	19.8	5.1	10.3	3.8	8.7	30.4	0.5	7.9

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「他人による暴力、脅迫、強要」の割合が、20歳代で「セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）」「SNS等での誹謗中傷」の割合が高くなっています。

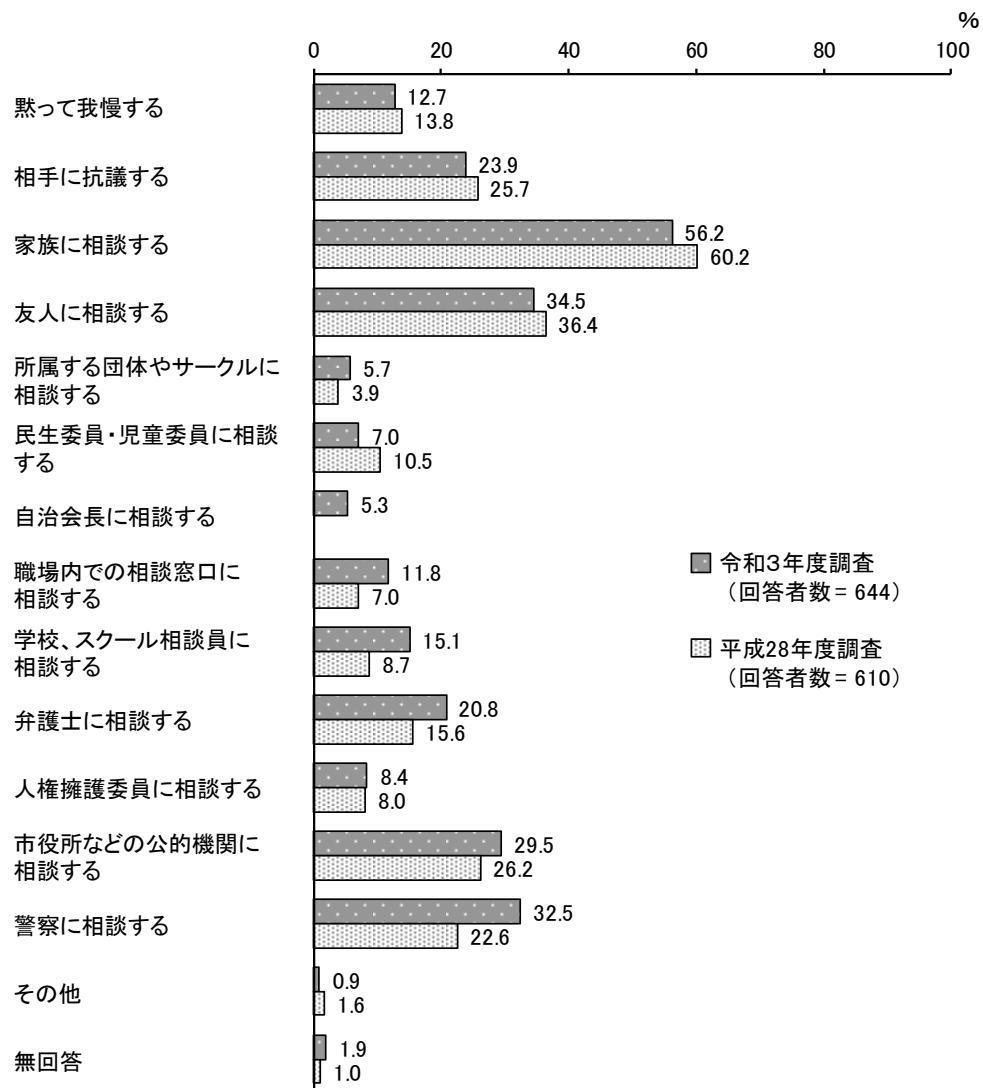
単位：％

区分	回答者数（件）	陰口、あらぬ噂、他人からの悪口、陰口	名誉き損や信用を傷つけるなどの侮辱	他人による暴力、脅迫、強要	プライバシーの侵害	パートナーや家族による暴力、脅迫、強要	地域での差別待遇	職場での嫌がらせや差別・パワーハラスメント	学校等でのいじめ	公的機関による不当な扱い	セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）	ストーカー行為	SNS等での誹謗中傷	人権侵害を感じたことはない	その他	無回答
10歳代	12	50.0	16.7	25.0	16.7	8.3	—	—	16.7	—	—	—	8.3	41.7	—	—
20歳代	53	52.8	13.2	9.4	17.0	7.5	3.8	13.2	30.2	7.5	20.8	3.8	24.5	34.0	—	—
30歳代	91	44.0	11.0	6.6	15.4	4.4	5.5	27.5	26.4	3.3	8.8	2.2	18.7	28.6	—	4.4
40歳代	123	35.0	11.4	8.9	14.6	3.3	4.9	31.7	24.4	4.9	8.1	4.9	8.9	27.6	1.6	7.3
50歳代	106	28.3	8.5	5.7	15.1	4.7	2.8	27.4	19.8	4.7	5.7	1.9	9.4	34.0	—	7.5
60歳代	106	31.1	10.4	2.8	15.1	3.8	1.9	25.5	12.3	4.7	2.8	0.9	1.9	34.0	—	6.6
70歳代以上	145	23.4	4.8	3.4	15.9	6.9	8.3	11.0	9.7	4.1	4.1	1.4	4.8	37.2	0.7	13.1

問7 もしも、自分や家族が人権侵害を受けた場合、どのように対応しますか。
(あてはまるものすべてに○)

【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「学校、スクール相談員に相談する」「弁護士に相談する」「警察に相談する」の割合が増加しています。



※前回は「自治会長に相談する」の選択肢が「民生委員・児童委員に相談する」と一緒になっていました。

【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「友人に相談する」「家族に相談する」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「相手に抗議する」「警察に相談する」「人権擁護委員に相談する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	黙って我慢する	相手に抗議する	家族に相談する	友人に相談する	所属する団体やサークルに相談する	民生委員・児童委員に相談する	自治会長に相談する	職場内での相談窓口 に相談する	学校、スクール相談員に 相談する	弁護士に相談する	人権擁護委員に 相談する	市役所などの公的機関に 相談する	警察に相談する	その他	無回答
男性	266	11.7	32.0	47.4	22.9	5.6	6.0	5.6	13.2	9.4	23.3	12.4	30.8	39.8	0.8	0.8
女性	369	13.8	18.4	63.4	43.4	6.0	7.9	5.1	10.8	19.5	19.2	5.7	29.3	27.9	1.1	1.1

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「友人に相談する」の割合が、70歳代以上で「市役所などの公的機関に相談する」の割合が高くなっています。また、60歳代で「警察に相談する」の割合が高くなっています。

単位：％

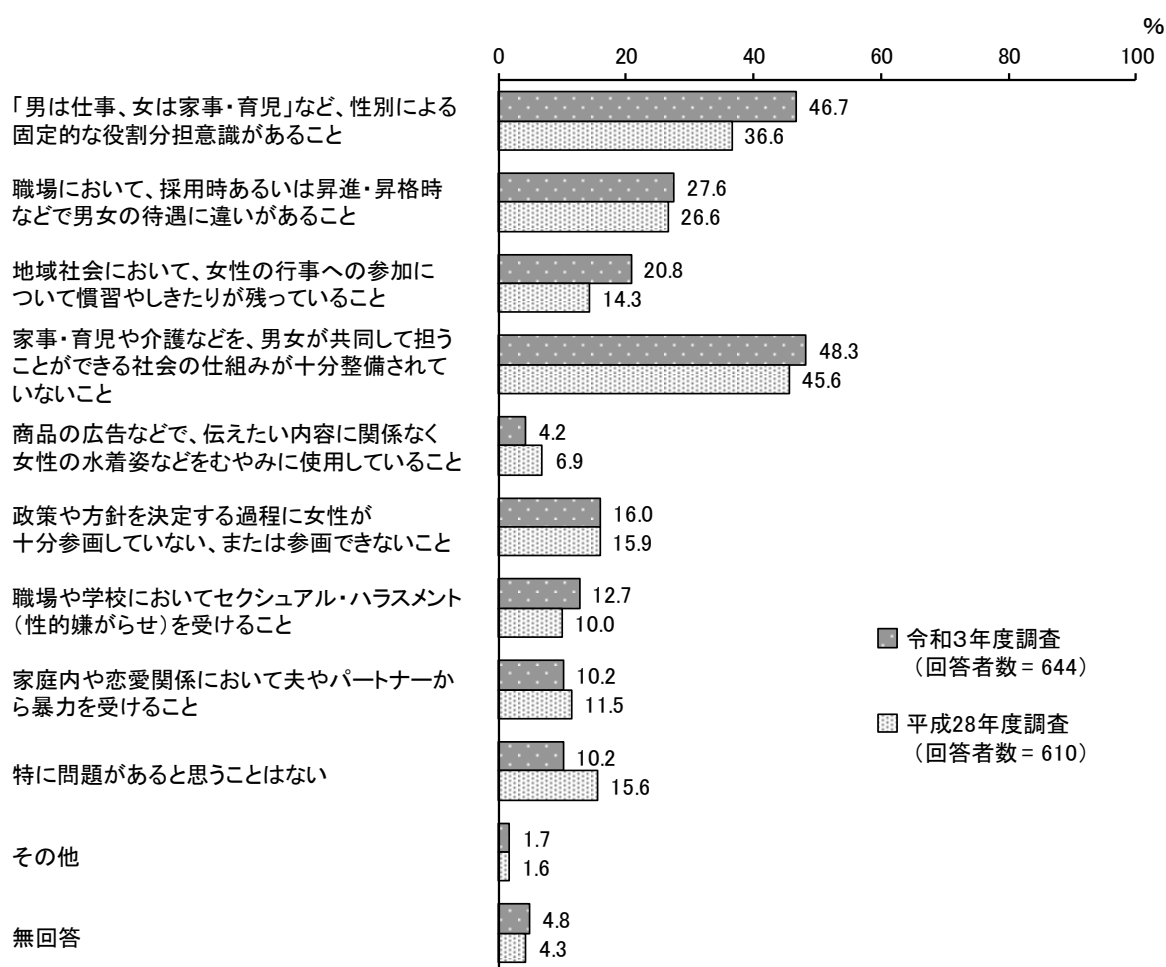
区分	回答者数（件）	黙って我慢する	相手に抗議する	家族に相談する	友人に相談する	所属する団体やサークルに相談する	民生委員・児童委員に相談する	自治会長に相談する	職場内での相談窓口 に相談する	学校、スクール相談員に 相談する	弁護士に相談する	人権擁護委員に相談する	市役所などの公的機関に 相談する	警察に相談する	その他	無回答
10歳代	12	8.3	16.7	66.7	50.0	8.3	—	—	8.3	33.3	33.3	—	8.3	25.0	—	—
20歳代	53	24.5	26.4	50.9	58.5	5.7	5.7	—	18.9	13.2	20.8	5.7	20.8	30.2	5.7	—
30歳代	91	17.6	26.4	69.2	41.8	12.1	2.2	—	19.8	27.5	18.7	7.7	20.9	31.9	1.1	—
40歳代	123	13.8	23.6	64.2	36.6	4.9	4.9	1.6	13.8	30.9	24.4	3.3	30.1	25.2	0.8	0.8
50歳代	106	11.3	18.9	53.8	27.4	4.7	4.7	1.9	10.4	11.3	24.5	0.9	24.5	33.0	0.9	2.8
60歳代	106	13.2	30.2	48.1	30.2	3.8	6.6	11.3	10.4	1.9	21.7	16.0	30.2	46.2	—	—
70歳代以上	145	6.2	22.8	52.4	28.3	4.8	15.2	11.7	4.8	6.2	15.2	15.2	43.4	31.7	—	1.4

(3) 女性の人権についてお聞きします。

問8 女性の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(〇は3つまで)

【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「男は仕事、女は家事・育児」など、性別による固定的な役割分担意識があること」「地域社会において、女性の行事への参加について慣習やしきたりが残っていること」の割合が増加しています。一方、「特に問題があると思うことはない」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家事・育児や介護などを、男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」「男は仕事、女は家事・育児」など、性別による固定的な役割分担意識があること」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「政策や方針を決定する過程に女性が十分参画していない、または参画できないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	「男は仕事、女は家事・育児」など、性別による固定的な役割分担意識があること	職場において、採用時あるいは昇進・昇格時などで男女の待遇に違いがあること	地域社会において、女性の行事への参加について慣習やしきたりが残っていること	家事・育児や介護などを、男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと	商品の広告などで、伝えたい内容に関係なく女性の水着姿などをむやみに使用していること	政策や方針を決定する過程に女性が十分参画していない、または参画できないこと	職場や学校においてセクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）を受けること	家庭内や恋愛関係において夫やパートナーから暴力を受けること	特に問題があると思うことはない	その他	無回答
男性	266	43.2	24.8	21.1	42.1	2.3	20.3	14.3	9.0	13.5	1.9	4.9
女性	369	50.4	30.1	20.9	53.9	5.7	13.0	11.9	11.1	8.1	1.6	3.3

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「男は仕事、女は家事・育児」など、性別による固定的な役割分担意識があること」「職場や学校においてセクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）を受けること」の割合が高くなっています。また、20歳代で「家事・育児や介護などを、男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」の割合が高くなっています。

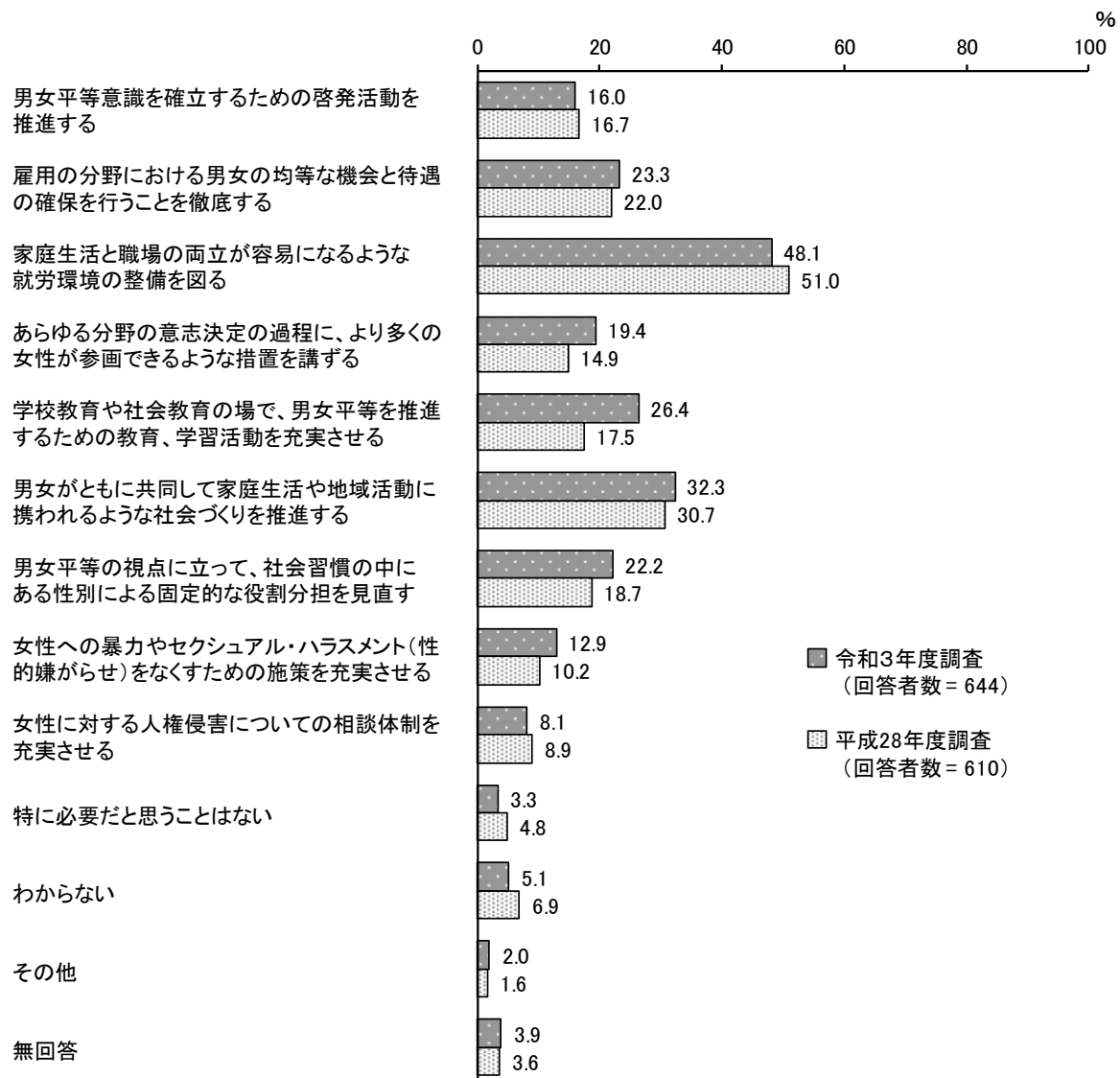
単位：％

区分	回答者数（件）	「男は仕事、女は家事・育児」など、性別による固定的な役割分担意識があること	職場において、採用時あるいは昇進・昇格時などで男女の待遇に違いがあること	地域社会において、女性の行事への参加について慣習やしきたりが残っていること	家事・育児や介護などを、男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと	商品の広告などで、伝えたい内容に関係なく女性の水着姿などをむやみに使用していること	政策や方針を決定する過程に女性が十分参画していない、または参画できないこと	職場や学校においてセクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）を受けること	家庭内や恋愛関係において夫やパートナーから暴力を受けること	特に問題があると思うことはない	その他	無回答
10歳代	12	75.0	41.7	8.3	41.7	—	16.7	33.3	16.7	—	—	—
20歳代	53	50.9	39.6	15.1	62.3	3.8	9.4	18.9	15.1	1.9	—	5.7
30歳代	91	59.3	25.3	25.3	56.0	4.4	18.7	14.3	17.6	5.5	3.3	1.1
40歳代	123	48.8	30.9	26.0	56.9	4.1	13.8	13.8	10.6	4.1	2.4	2.4
50歳代	106	36.8	23.6	13.2	47.2	4.7	8.5	10.4	9.4	15.1	0.9	6.6
60歳代	106	50.9	26.4	25.5	41.5	4.7	19.8	12.3	6.6	10.4	2.8	2.8
70歳代以上	145	40.0	26.2	19.3	39.3	4.1	21.4	9.7	6.2	19.3	0.7	5.5

問9 女性の人権問題を尊重していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「学校教育や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育、学習活動を充実させる」の割合が増加しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	男女平等意識を確立するための啓発活動を推進する	雇用の分野における男女の均等な機会と待遇の確保を行うことを徹底する	家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る	あらゆる分野の意志決定の過程に、より多くの女性が参画できるような措置を講ずる	学校教育や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育、学習活動を充実させる	男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する	男女平等の視点に立つて、社会習慣の中にある性別による固定的な役割分担を見直す	女性への暴力やセクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）をなくすための施策を充実させる	女性に対する人権侵害についての相談体制を充実させる	特に必要だと思わない	わからない	その他	無回答
男性	266	17.3	23.7	44.7	22.6	25.6	30.8	21.8	11.7	7.1	4.9	2.6	3.0	3.8
女性	369	15.4	23.6	51.5	17.6	27.6	33.6	22.8	14.1	8.9	1.9	7.0	1.4	2.4

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「学校教育や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育、学習活動を充実させる」「男女平等の視点に立って、社会習慣の中にある性別による固定的な役割分担を見直す」の割合が高くなっています。また、60歳代で「雇用の分野における男女の均等な機会と待遇の確保を行うことを徹底する」の割合が高くなっています。

単位：％

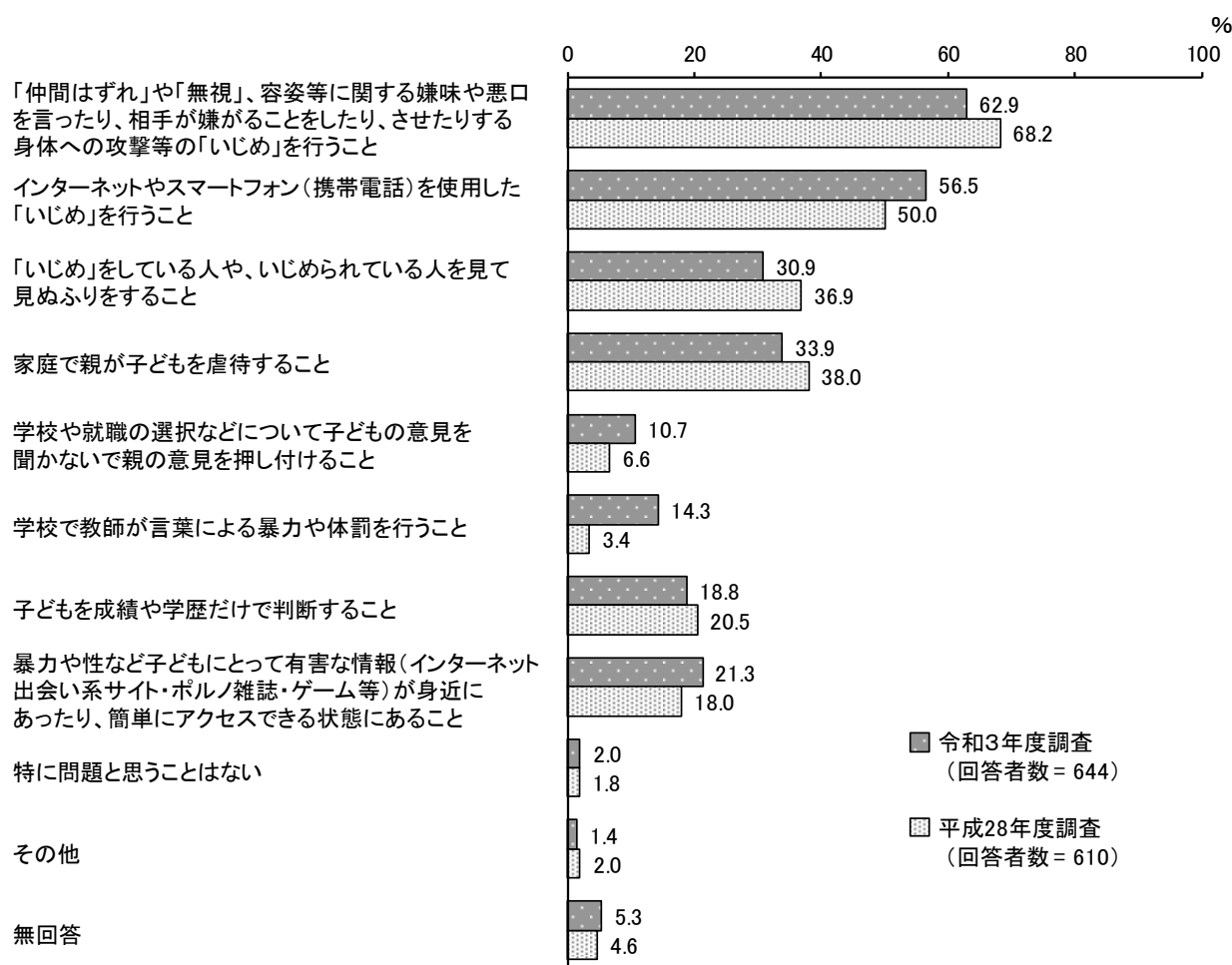
区分	回答者数（件）	男女平等意識を確立するための啓発活動を推進する	雇用の分野における男女の均等な機会と待遇の確保を行うことを徹底する	家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る	あらゆる分野の意志決定の過程に、より多くの女性が参画できるような措置を講ずる	学校教育や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育、学習活動を充実させる	男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する	性別による固定的な役割分担を見直す	男女平等の視点に立って、社会習慣の中にある性別による固定的な役割分担を見直す	女性への暴力やセクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）をなくすための施策を充実させる	女性に対する人権侵害についての相談体制を充実させる	特に必要だと思わない	わからない	その他	無回答
10歳代	12	8.3	8.3	66.7	8.3	50.0	50.0	16.7	16.7	16.7	—	8.3	—	—	—
20歳代	53	13.2	32.1	62.3	11.3	30.2	32.1	24.5	17.0	3.8	1.9	3.8	—	3.8	3.8
30歳代	91	9.9	22.0	61.5	18.7	24.2	38.5	27.5	11.0	8.8	1.1	2.2	3.3	4.4	4.4
40歳代	123	12.2	18.7	52.0	16.3	35.0	36.6	27.6	12.2	7.3	—	2.4	3.3	3.3	3.3
50歳代	106	12.3	20.8	47.2	13.2	15.1	30.2	13.2	15.1	7.5	6.6	7.5	1.9	3.8	3.8
60歳代	106	20.8	37.7	41.5	26.4	21.7	23.6	22.6	10.4	11.3	1.9	9.4	1.9	1.9	1.9
70歳代以上	145	24.1	18.6	37.9	26.9	30.3	31.7	21.4	13.8	6.9	6.9	4.8	1.4	2.1	2.1

(4) 子どもの人権についてお聞きします。

問 10 子どもの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(〇は3つまで)

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「インターネットやスマートフォン（携帯電話）を使用した「いじめ」を行うこと」「学校で教師が言葉による暴力や体罰を行うこと」の割合が増加しています。一方、「「仲間はずれ」や「無視」、容姿等に関する嫌味や悪口を言ったり、相手が嫌がることをしたり、させたりする身体への攻撃等の「いじめ」を行うこと」「「いじめ」をしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家庭で親が子どもを虐待すること」「学校で教師が言葉による暴力や体罰を行うこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	「仲間はずれ」や「無視」、容姿等に関する嫌味や悪口を言ったり、相手が嫌がることをしたり、させたりする身体への攻撃等の「いじめ」を行うこと	インターネットやスマートフォン（携帯電話）を使用した「いじめ」を行うこと	「いじめ」をしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事	家庭で親が子どもを虐待すること	学校や就職の選択などについて子どもの意見を聞かないで親の意見を押し付けること	学校で教師が言葉による暴力や体罰を行うこと	子どもを成績や学歴だけで判断すること	暴力や性など子どもにとって有害な情報（インターネット出会い系サイト・ポルノ雑誌・ゲーム等）が身近にあったり、簡単にアクセスできる状態にあること	特に問題と思うことはない	その他	無回答
男性	266	61.3	55.6	32.0	30.5	12.0	11.3	17.3	21.1	2.3	1.9	5.6
女性	369	64.5	57.5	30.4	36.3	10.0	16.0	20.1	21.7	1.6	1.1	4.6

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10 歳代で「「仲間はずれ」や「無視」、容姿等に関する嫌味や悪口を言ったり、相手が嫌がることをしたり、させたりする身体への攻撃等の「いじめ」を行うこと」「家庭で親が子どもを虐待すること」「学校や就職の選択などについて子どもの意見を聞かないで親の意見を押し付けること」の割合が、70 歳代以上で「子どもを成績や学歴だけで判断すること」の割合が高くなっています。また、60 歳代で「「いじめ」をしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」の割合が高くなっています。

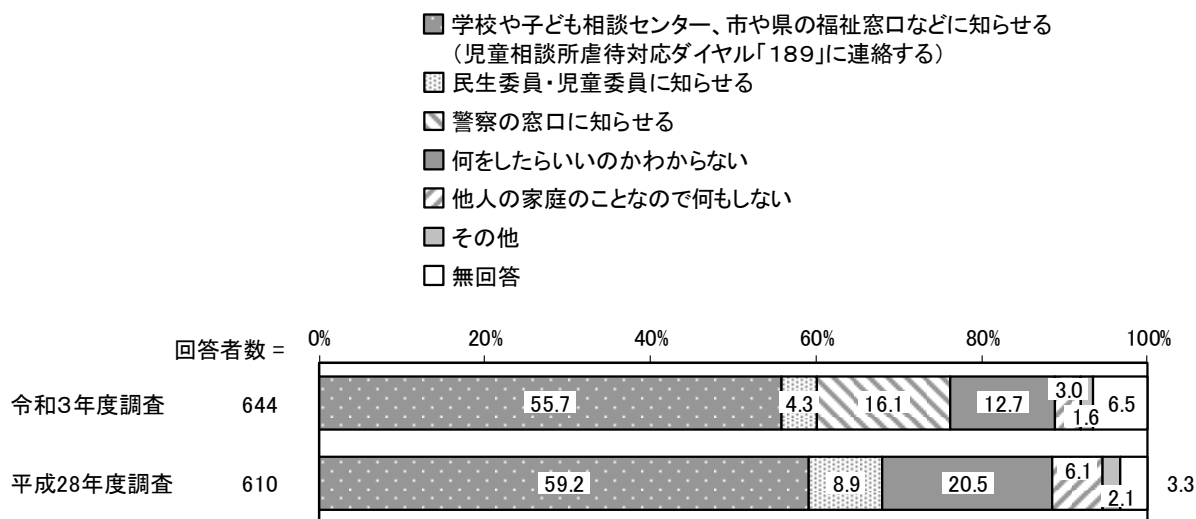
単位：％

区分	回答者数（件）	「仲間はずれ」や「無視」、容姿等に関する嫌味や悪口を言ったり、相手が嫌がることをしたり、させたりする身体への攻撃等の「いじめ」を行うこと	インターネットやスマートフォン（携帯電話）を使用した「いじめ」を行うこと	「いじめ」をしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事	家庭で親が子どもを虐待すること	学校や就職の選択などについて子どもの意見を聞かないで親の意見を押し付けること	学校で教師が言葉による暴力や体罰を行うこと	子どもを成績や学歴だけで判断すること	暴力や性など子どもにとって有害な情報（インターネット出会い系サイト・ポルノ雑誌・ゲーム等）が身近にあったり、簡単にアクセスできる状態にあること	特に問題と思うことはない	その他	無回答
10 歳代	12	75.0	33.3	16.7	50.0	66.7	8.3	16.7	—	—	—	—
20 歳代	53	60.4	60.4	24.5	28.3	22.6	13.2	24.5	18.9	1.9	5.7	1.9
30 歳代	91	62.6	61.5	27.5	41.8	8.8	19.8	15.4	18.7	4.4	—	3.3
40 歳代	123	64.2	68.3	29.3	35.8	10.6	18.7	11.4	21.1	—	1.6	6.5
50 歳代	106	65.1	57.5	30.2	42.5	2.8	14.2	17.0	15.1	1.9	0.9	5.7
60 歳代	106	66.0	58.5	41.5	29.2	11.3	9.4	12.3	24.5	—	0.9	6.6
70 歳代以上	145	58.6	42.8	31.7	24.1	8.3	11.0	31.7	27.6	3.4	1.4	5.5

問 11 あなたが児童虐待を発見したらどうしますか。(○は1つまで)

【経年比較】

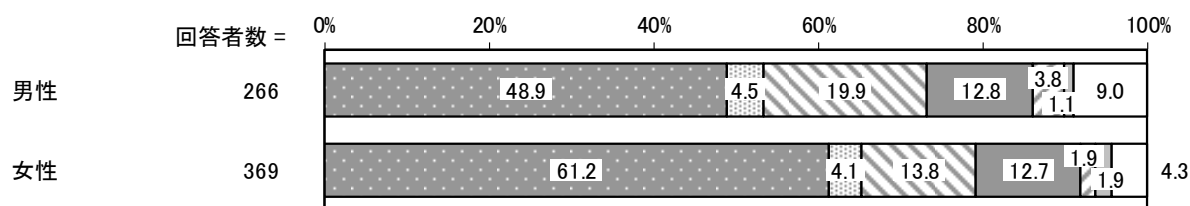
平成 28 年度調査と比較すると、「何をしたらいいのかわからない」の割合が減少しています。



※前回は「警察の窓口知らせる」の選択肢がありませんでした。

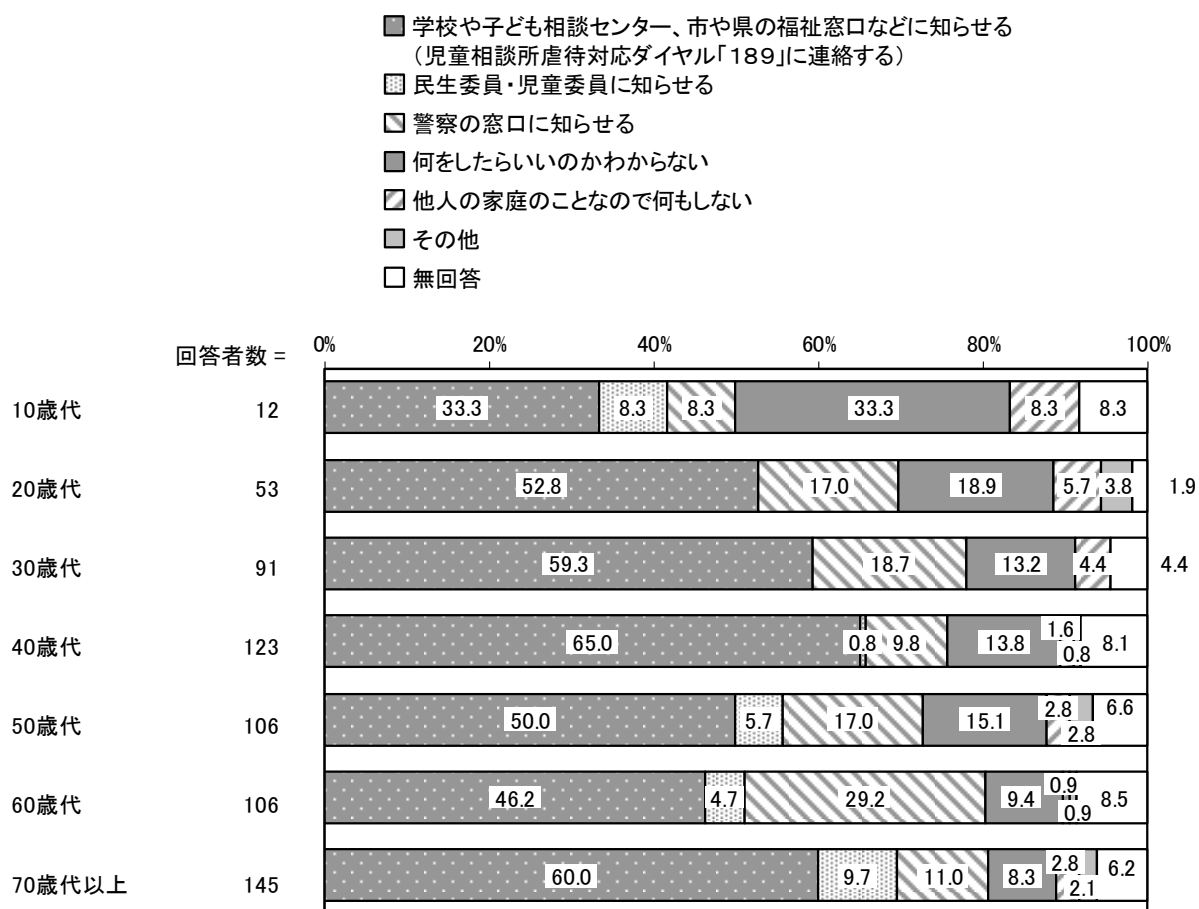
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「学校や子ども相談センター、市や県の福祉窓口などに知らせる（児童相談所虐待対応ダイヤル「189」に連絡する）」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「警察の窓口知らせる」の割合が高くなっています。



【年齢別】

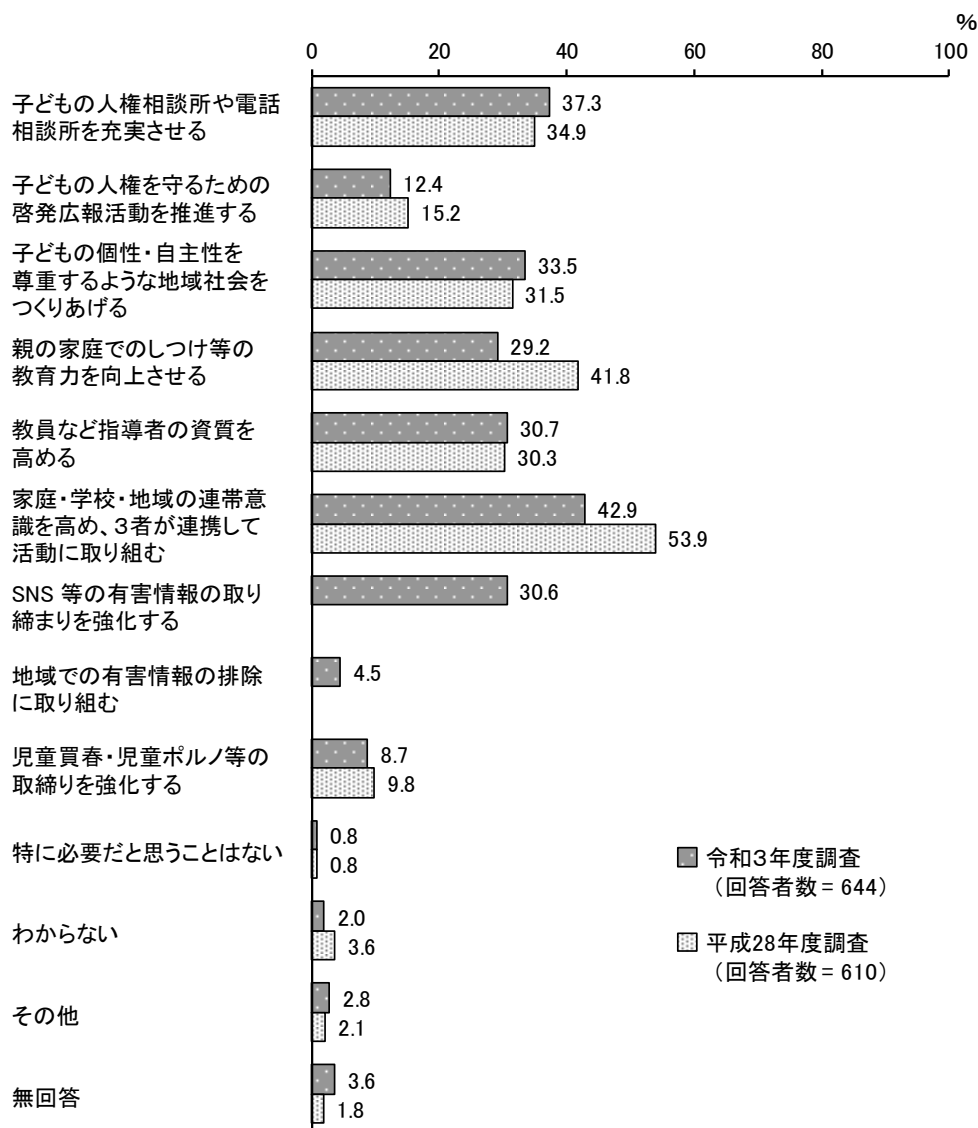
年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「何をしたらいいのかわからない」の割合が、60歳代で「警察の窓口知らせる」の割合が高くなっています。



問 12 子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで)

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「親の家庭でのしつけ等の教育力を向上させる」「家庭・学校・地域の連帯意識を高め、3 者が連携して活動に取り組む」の割合が減少しています。



※前回は「SNS 等の有害情報の取り締まりを強化する」と「地域での有害情報の排除に取り組む」の選択肢がありませんでした。

【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「子どもの人権相談所や電話相談所を充実させる」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「親の家庭でのしつけ等の教育力を向上させる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どもの人権相談所や電話相談所を充実させる	子どもの人権を守るための啓発広報活動を推進する	子どもの個性・自主性を尊重するような地域社会をつくりあげる	親の家庭でのしつけ等の教育力を向上させる	教員など指導者の資質を高める	家庭・学校・地域の連帯意識を高め、3者が連携して活動に取り組む	SNS等の有害情報の取り締まりを強化する	地域での有害情報の排除に取り組む	児童買春・児童ポルノ等の取締りを強化する	特に必要だと思うことはない	わからない	その他	無回答
男性	266	34.2	14.7	31.6	32.7	29.3	41.4	28.2	6.0	6.4	1.1	1.5	3.8	3.8
女性	369	39.3	11.1	34.7	27.1	32.0	44.4	32.8	3.5	10.3	0.3	2.4	2.2	3.0

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「教員など指導者の資質を高める」の割合が、40歳代で「SNS等の有害情報の取り締まりを強化する」の割合が高くなっています。また、60歳代で「子どもの人権相談所や電話相談所を充実させる」の割合が高くなっています。

単位：％

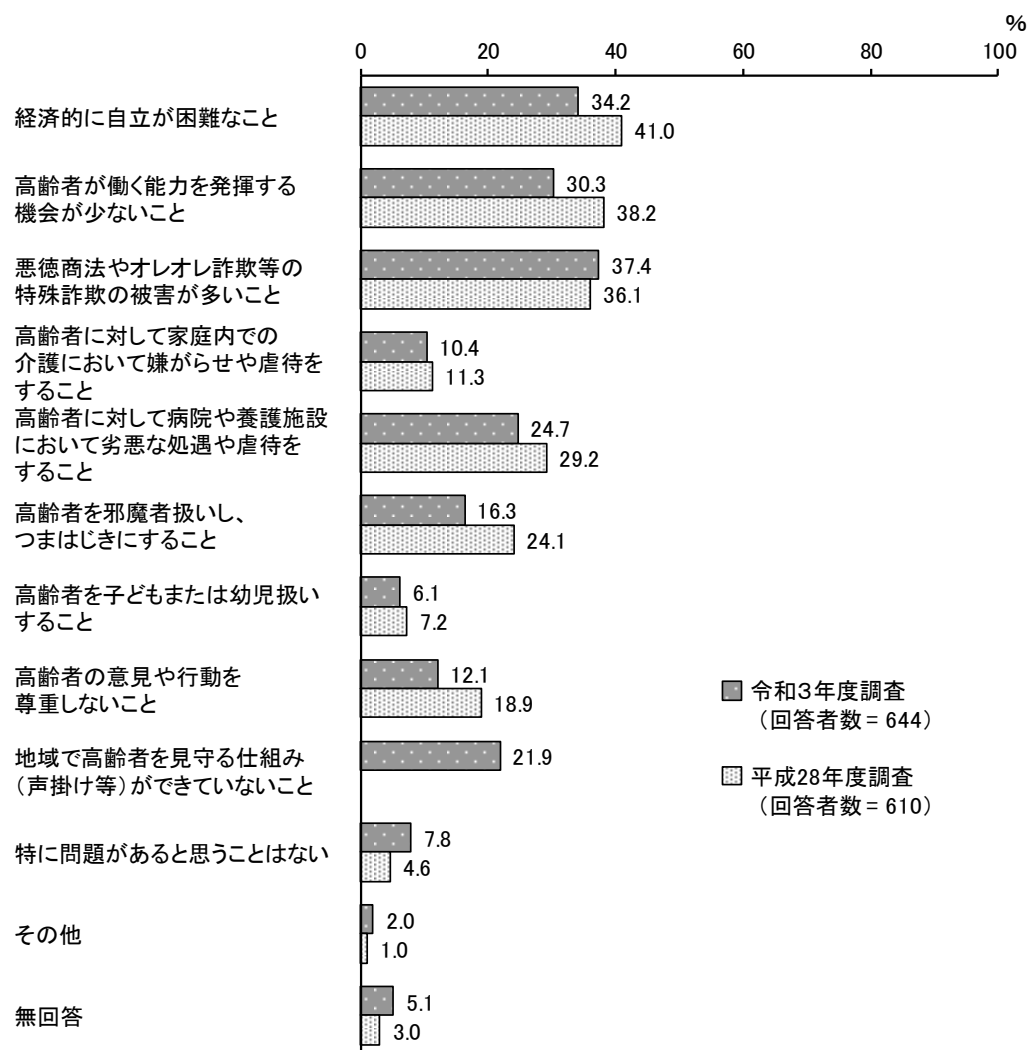
区分	回答者数（件）	子どもの人権相談所や電話相談所を充実させる	子どもの人権を守るための啓発広報活動を推進する	子どもの個性・自主性を尊重するような地域社会をつくりあげる	親の家庭でのしつけ等の教育力を向上させる	教員など指導者の資質を高める	家庭・学校・地域の連帯意識を高め、3者が連携して活動に取り組む	SNS等の有害情報の取り締まりを強化する	地域での有害情報の排除に取り組む	児童買春・児童ポルノ等の取締りを強化する	特に必要だと思うことはない	わからない	その他	無回答
10歳代	12	16.7	16.7	41.7	33.3	58.3	25.0	8.3	—	—	—	8.3	—	—
20歳代	53	32.1	11.3	35.8	30.2	30.2	49.1	20.8	1.9	1.9	1.9	1.9	11.3	1.9
30歳代	91	31.9	12.1	36.3	28.6	34.1	47.3	28.6	3.3	13.2	1.1	1.1	5.5	3.3
40歳代	123	29.3	11.4	37.4	29.3	26.8	41.5	43.1	4.9	9.8	—	1.6	2.4	2.4
50歳代	106	41.5	7.5	22.6	31.1	29.2	40.6	33.0	5.7	8.5	1.9	2.8	—	2.8
60歳代	106	47.2	16.0	32.1	23.6	31.1	43.4	31.1	2.8	9.4	—	2.8	0.9	5.7
70歳代以上	145	39.3	15.2	35.2	32.4	30.3	42.1	25.5	6.9	7.6	0.7	1.4	2.1	4.1

（５）高齢者の人権についてお聞きします。

問 13 高齢者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
（○は３つまで）

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「経済的に自立が困難なこと」「高齢者が働く能力を発揮する機会が少ないこと」「高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること」「高齢者の意見や行動を尊重しないこと」の割合が減少しています。



※前回は「地域で高齢者を見守る仕組み（声掛け等）ができていないこと」の選択肢がありませんでした。

【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「高齢者に対して病院や養護施設において劣悪な処遇や虐待をすること」「高齢者に対して家庭内での介護において嫌がらせや虐待をすること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	経済的に自立が困難なこと	高齢者が働く能力を発揮する機会が少ないこと	悪徳商法やオレオレ詐欺等の特殊詐欺の被害が多いこと	高齢者に対して家庭内での介護において嫌がらせや虐待をすること	高齢者に対して病院や養護施設において劣悪な処遇や虐待をすること	高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにする	高齢者を子どもまたは幼児扱いすること	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	地域で高齢者を見守る仕組み（声掛け等）ができていないこと	特に問題があると思うことはない	その他	無回答
男性	266	32.7	30.5	36.8	7.5	19.5	18.4	5.6	11.3	21.1	10.5	3.8	4.5
女性	369	35.2	30.4	37.9	12.7	28.7	14.9	6.5	12.7	22.5	6.0	0.8	4.9

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「悪徳商法やオレオレ詐欺等の特殊詐欺の被害が多いこと」「高齢者に対して家庭内での介護において嫌がらせや虐待をすること」「高齢者に対して病院や養護施設において劣悪な処遇や虐待をすること」「高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにする」の割合が、60歳代で「経済的に自立が困難なこと」の割合が高くなっています。また、70歳代以上で「高齢者の意見や行動を尊重しないこと」の割合が高くなっています。

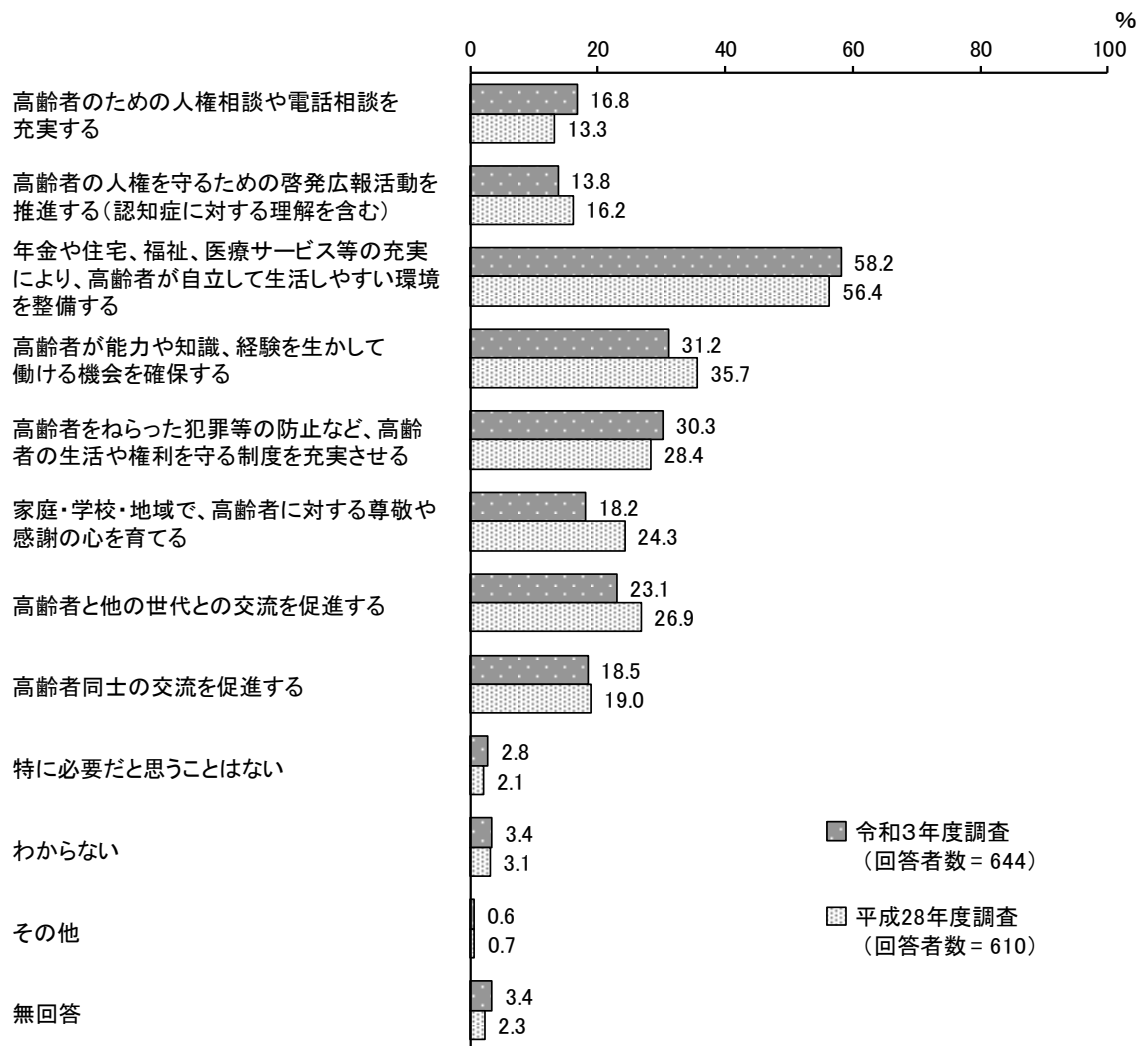
単位：％

区分	回答者数（件）	経済的に自立が困難なこと	高齢者が働く能力を発揮する機会が少ないこと	悪徳商法やオレオレ詐欺等の特殊詐欺の被害が多いこと	高齢者に対して家庭内での介護において嫌がらせや虐待をすること	高齢者に対して病院や養護施設において劣悪な処遇や虐待をすること	高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにする	高齢者を子どもまたは幼児扱いすること	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	地域で高齢者を見守る仕組み（声掛け等）ができていないこと	特に問題があると思うことはない	その他	無回答
10歳代	12	33.3	25.0	66.7	33.3	41.7	25.0	8.3	—	8.3	8.3	—	—
20歳代	53	35.8	32.1	35.8	17.0	22.6	15.1	5.7	—	18.9	9.4	3.8	1.9
30歳代	91	29.7	30.8	47.3	12.1	26.4	15.4	8.8	5.5	9.9	8.8	3.3	3.3
40歳代	123	30.1	26.0	41.5	11.4	31.7	21.1	4.9	11.4	19.5	7.3	0.8	4.9
50歳代	106	34.9	32.1	30.2	10.4	21.7	15.1	1.9	9.4	23.6	7.5	1.9	6.6
60歳代	106	44.3	34.0	32.1	7.5	26.4	15.1	10.4	15.1	27.4	5.7	2.8	4.7
70歳代以上	145	31.0	29.7	35.9	6.9	18.6	14.5	5.5	22.1	27.6	9.0	1.4	6.2

問 14 高齢者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「家庭・学校・地域で、高齢者に対する尊敬や感謝の心を育てる」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「年金や住宅、福祉、医療サービス等の充実により、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」「家庭・学校・地域で、高齢者に対する尊敬や感謝の心を育てる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	高齢者のための人権相談や電話相談を充実する	高齢者の人権を守るための啓発広報活動を推進する（認知症に対する理解を含む）	年金や住宅、福祉、医療サービス等の充実により、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する	高齢者が能力や知識、経験を生かして働ける機会を確保する	高齢者をねらった犯罪等の防止など、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる	家庭・学校・地域で、高齢者に対する尊敬や感謝の心を育てる	高齢者との世代との交流を促進する	高齢者同士の交流を促進する	特に必要だと思うことはない	わからない	その他	無回答
男性	266	15.8	15.0	53.0	30.8	27.8	13.9	22.2	17.7	4.9	3.8	1.1	3.0
女性	369	17.3	13.0	62.3	31.7	32.5	21.7	23.8	19.5	1.4	3.0	0.3	3.3

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「高齢者をねらった犯罪等の防止など、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる」「高齢者和其他の世代との交流を促進する」の割合が、60歳代で「年金や住宅、福祉、医療サービス等の充実により、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」の割合が高くなっています。また、20歳代で「高齢者同士の交流を促進する」の割合が高くなっています。

単位：％

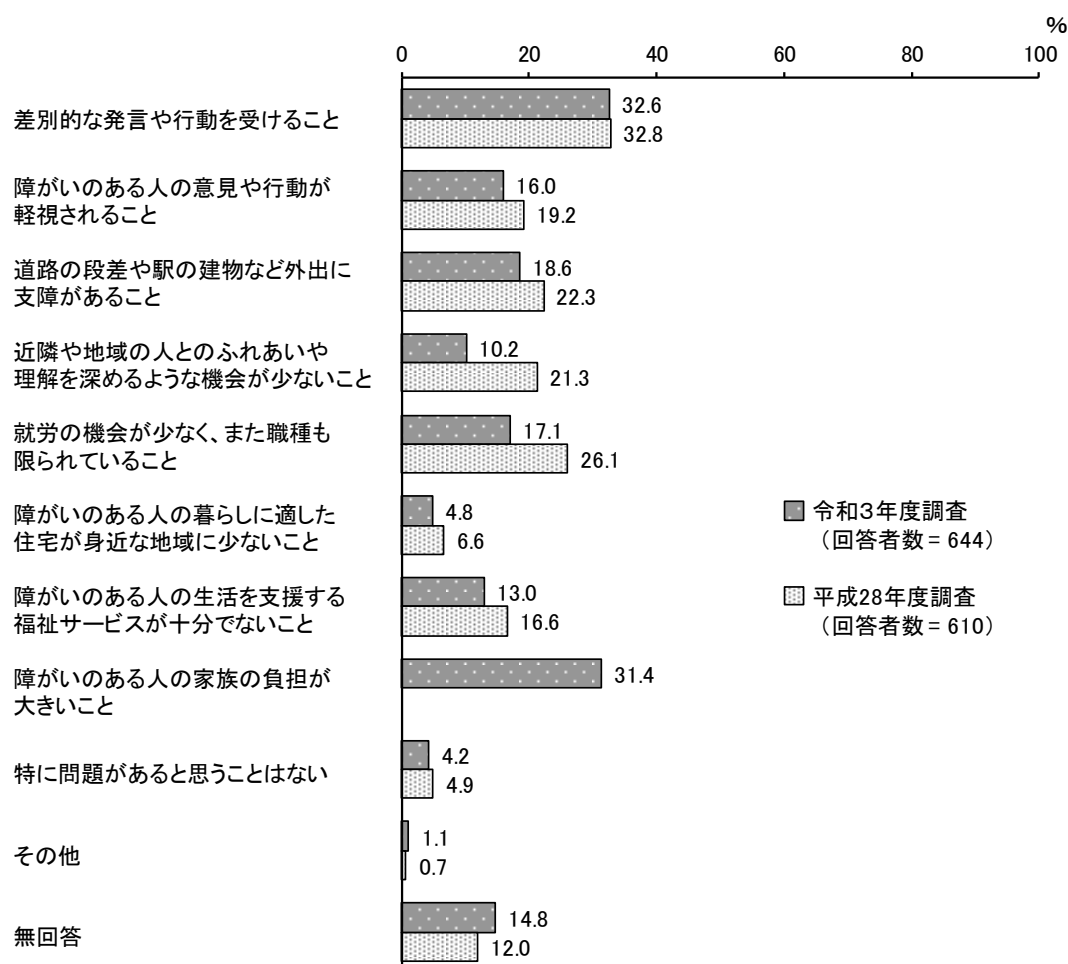
区分	回答者数（件）	高齢者のための人権相談や電話相談を充実する	高齢者の人権を守るための啓発広報活動を推進する（認知症に対する理解を含む）	年金や住宅、福祉、医療サービス等の充実により、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する	高齢者が能力や知識、経験を生かして働ける機会を確保する	高齢者をねらった犯罪等の防止など、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる	家庭・学校・地域で、高齢者に対する尊敬や感謝の心を育てる	高齢者和其他の世代との交流を促進する	高齢者同士の交流を促進する	特に必要だと思うことはない	わからない	その他	無回答
10歳代	12	—	—	58.3	41.7	50.0	16.7	50.0	16.7	—	8.3	—	—
20歳代	53	18.9	11.3	49.1	30.2	30.2	5.7	20.8	28.3	1.9	5.7	3.8	1.9
30歳代	91	11.0	6.6	51.6	35.2	41.8	14.3	23.1	17.6	3.3	3.3	—	3.3
40歳代	123	13.0	10.6	53.7	37.4	30.9	23.6	21.1	15.4	3.3	5.7	0.8	3.3
50歳代	106	18.9	12.3	56.6	36.8	20.8	17.9	20.8	17.9	3.8	3.8	—	3.8
60歳代	106	18.9	17.9	73.6	29.2	23.6	13.2	28.3	15.1	1.9	0.9	0.9	4.7
70歳代以上	145	20.7	21.4	59.3	20.7	34.5	25.5	20.7	22.1	2.8	1.4	—	2.8

（６）障がいのある人の人権についてお聞きします。

問 15 障がい者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。（○は２つまで）

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「近隣や地域の人とのふれあいや理解を深めるような機会が少ないこと」「就労の機会が少なく、また職種も限られていること」の割合が減少しています。



※前回は「障がいのある人の家族の負担が大きいこと」の選択肢がありませんでした。

【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「道路の段差や駅の建物など外出に支障があること」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「障がいのある人の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	差別的な発言や行動を受けること	障がいのある人の意見や行動が軽視されること	道路の段差や駅の建物など外出に支障があること	近隣や地域の人とのふれあいや理解を深めるような機会が少ないこと	就労の機会が少なく、また職種も限られていること	障がいのある人の暮らしに適した住宅が身近な地域に少ないこと	障がいのある人の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと	障がいのある人の家族の負担が大きいこと	特に問題があると思うことはない	その他	無回答
男性	266	32.0	16.9	15.4	8.3	17.3	5.6	16.9	33.1	4.9	1.9	12.0
女性	369	33.3	15.7	21.1	11.9	17.3	4.1	10.6	30.4	3.5	0.5	16.0

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「障がいのある人の意見や行動が軽視されること」「特に問題があると思うことはない」の割合が高くなっています。

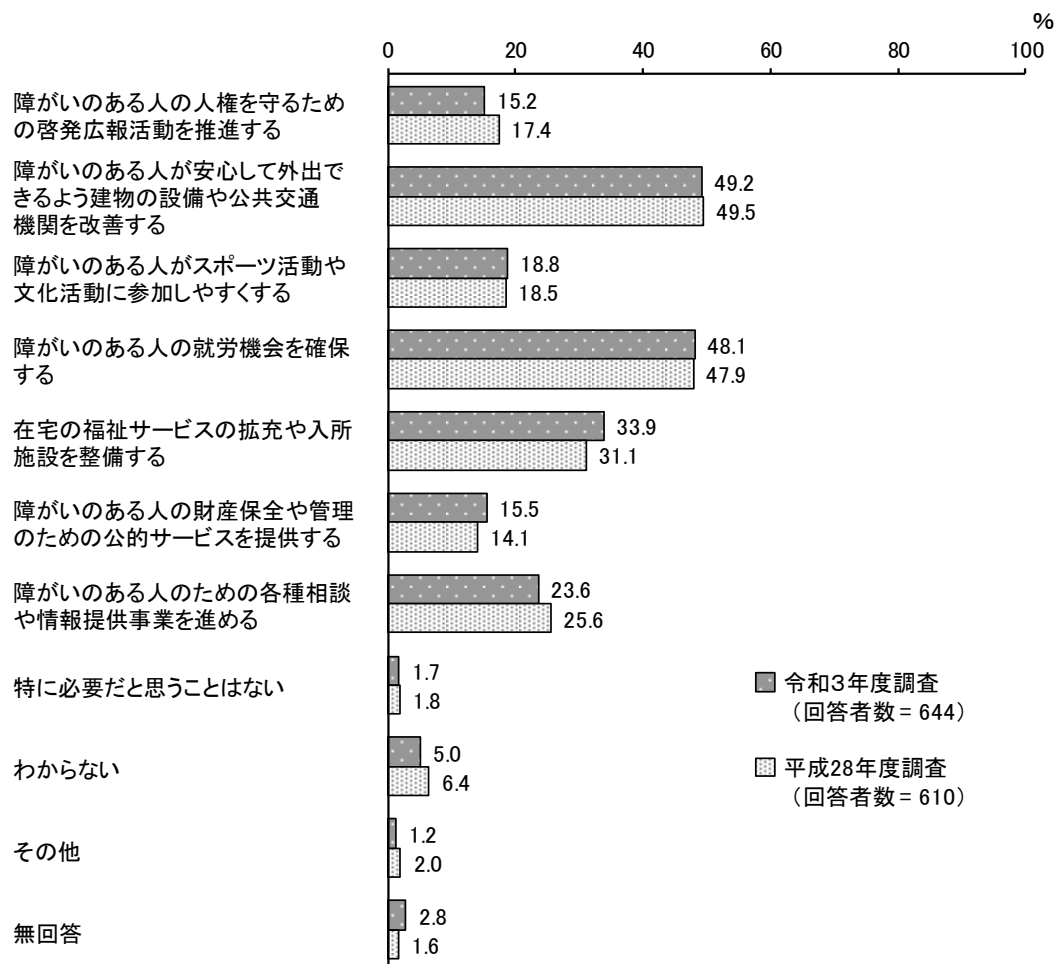
単位：％

区分	回答者数（件）	差別的な発言や行動を受けること	障がいのある人の意見や行動が軽視されること	道路の段差や駅の建物など外出に支障があること	近隣や地域の人とのふれあいや理解を深めるような機会が少ないこと	就労の機会が少なく、また職種も限られていること	障がいのある人の暮らしに適した住宅が身近な地域に少ないこと	障がいのある人の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと	障がいのある人の家族の負担が大きいこと	特に問題があると思うことはない	その他	無回答
10歳代	12	50.0	33.3	16.7	—	25.0	—	8.3	25.0	16.7	—	—
20歳代	53	37.7	17.0	18.9	5.7	11.3	1.9	11.3	24.5	1.9	3.8	22.6
30歳代	91	47.3	17.6	15.4	11.0	16.5	6.6	3.3	34.1	7.7	—	11.0
40歳代	123	38.2	14.6	13.8	10.6	19.5	7.3	10.6	31.7	2.4	1.6	14.6
50歳代	106	24.5	14.2	24.5	4.7	20.8	3.8	16.0	34.9	5.7	0.9	9.4
60歳代	106	29.2	20.8	20.8	12.3	16.0	2.8	19.8	27.4	2.8	1.9	17.0
70歳代以上	145	24.1	12.4	19.3	15.2	15.2	4.8	15.9	33.1	3.4	—	16.6

問 16 障がい者の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで)

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「障がいのある人が安心して外出できるよう建物の設備や公共交通機関を改善する」「在宅の福祉サービスの拡充や入所施設を整備する」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「障がいのある人の人権を守るための啓発広報活動を推進する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	障がいのある人の人権を守るための啓発広報活動を推進する	障がいのある人が安心して外出できるよう建物の設備や公共交通機関を改善する	障がいのある人がスポーツ活動や文化活動に参加しやすくする	障がいのある人の就労機会を確保する	在宅の福祉サービスの拡充や入所施設を整備する	障がいのある人の財産保全や管理のための公的サービスを提供する	障がいのある人のための各種相談や情報提供事業を進める	特に必要だと思ふことはない	わからない	その他	無回答
男性	266	18.8	42.5	18.4	45.5	29.7	14.3	23.7	2.3	6.0	0.8	2.3
女性	369	13.0	54.5	19.5	50.4	37.4	16.3	23.3	0.8	4.1	1.6	2.7

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「障がいのある人の財産保全や管理のための公的サービスを提供する」の割合が、40歳代で「障がいのある人の就労機会を確保する」の割合が高くなっています。また、60歳代で「障がいのある人が安心して外出できるよう建物の設備や公共交通機関を改善する」の割合が高くなっています。

単位：％

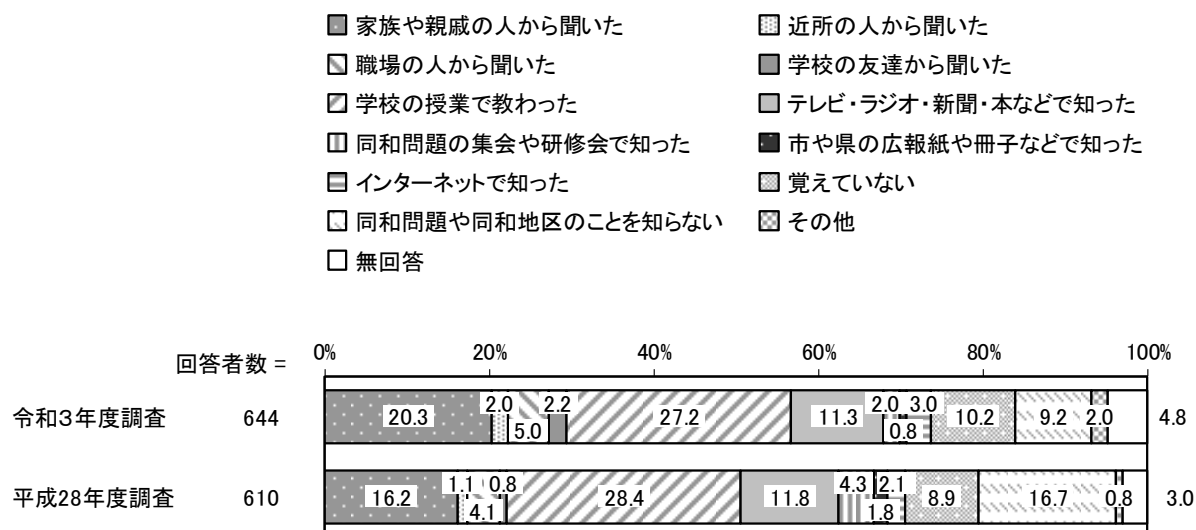
区分	回答者数（件）	障がいのある人の人権を守るための啓発 広報活動を推進する	障がいのある人が安心して外出できるよう 建物の設備や公共交通機関を改善する	障がいのある人がスポーツ活動や文化活 動に参加しやすくする	障がいのある人の就労機会を確保する	在宅の福祉サービスの拡充や入所施設を 整備する	障がいのある人の財産保全や管理のため の公的サービスを提供する	障がいのある人のための各種相談や情報 提供事業を進める	特に必要だと思うことはない	わからない	その他	無回答
10歳代	12	8.3	41.7	16.7	50.0	33.3	16.7	8.3	8.3	8.3	—	—
20歳代	53	13.2	43.4	26.4	43.4	30.2	17.0	28.3	—	9.4	1.9	—
30歳代	91	19.8	46.2	22.0	48.4	25.3	23.1	14.3	2.2	4.4	1.1	1.1
40歳代	123	7.3	49.6	16.3	56.9	38.2	16.3	18.7	—	4.1	0.8	4.1
50歳代	106	9.4	47.2	16.0	42.5	34.0	14.2	25.5	3.8	3.8	0.9	1.9
60歳代	106	22.6	56.6	19.8	50.0	37.7	11.3	25.5	1.9	1.9	1.9	1.9
70歳代以上	145	20.0	50.3	18.6	44.8	35.2	13.1	29.0	1.4	6.9	1.4	4.1

（７）部落差別（同和問題）についてお聞きします。

問 17 あなたが部落差別（同和問題）について、はじめて知ったきっかけは何ですか。
（〇は１つまで）

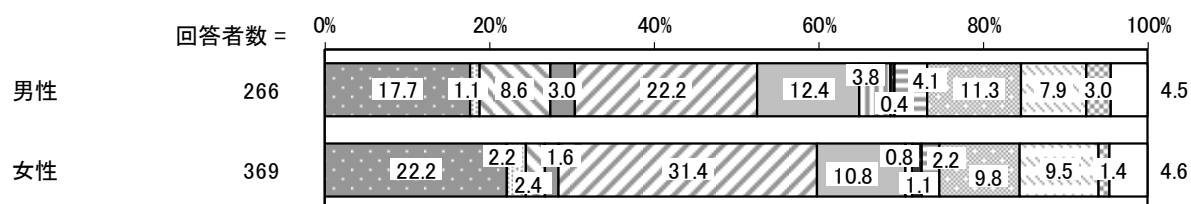
【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「同和問題や同和地区のことを知らない」の割合が減少しています。



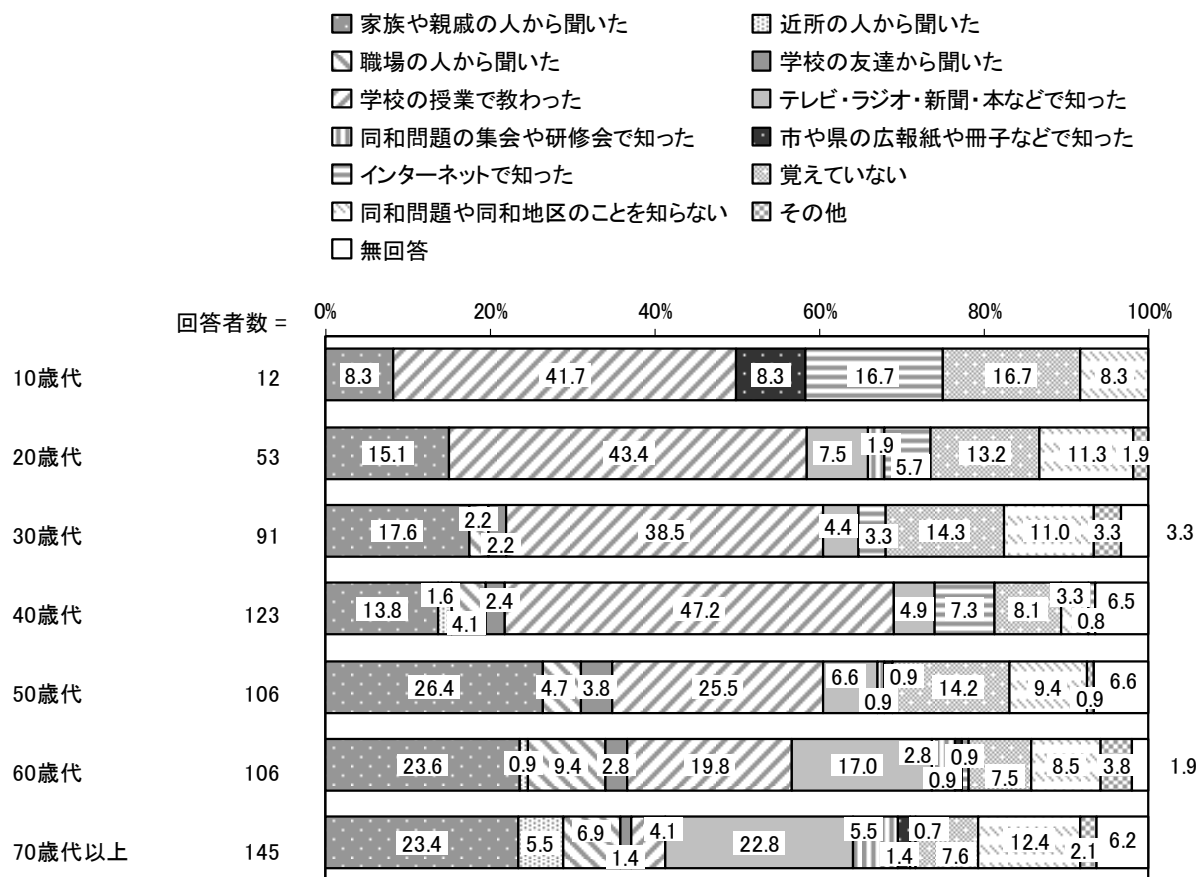
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「学校の授業で教わった」の割合が高くなっています。



【年齢別】

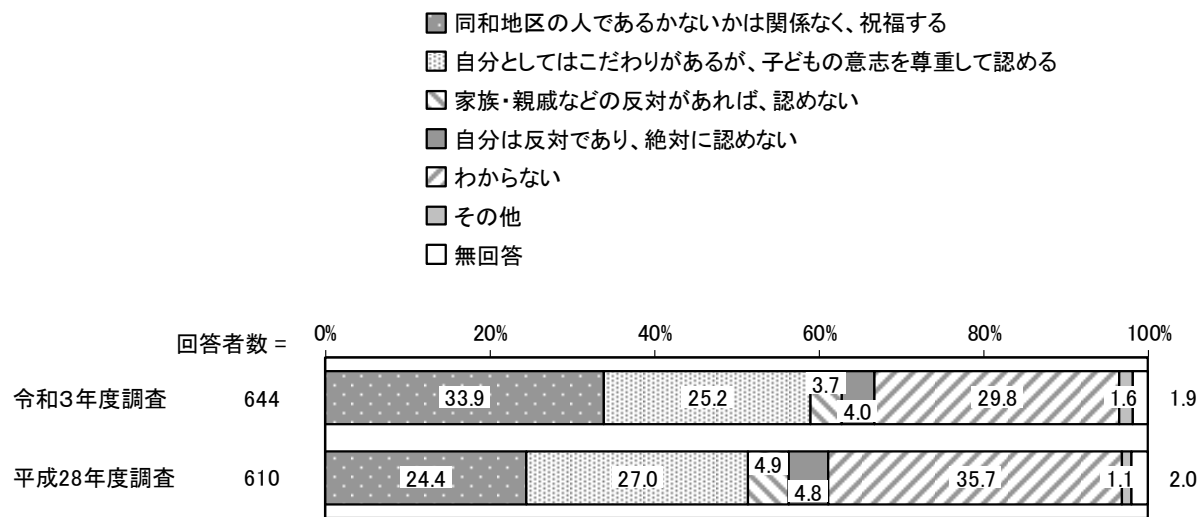
年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「市や県の広報紙や冊子などで知った」「インターネットで知った」の割合が、70歳代以上で「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」の割合が高くなっています。



問 18 あなたのお子さんが（いらっしゃらない場合は、いると仮定してお考えください）、同和地区出身の人と結婚するとしたら、あなたはどうしますか。
（〇は1つまで）

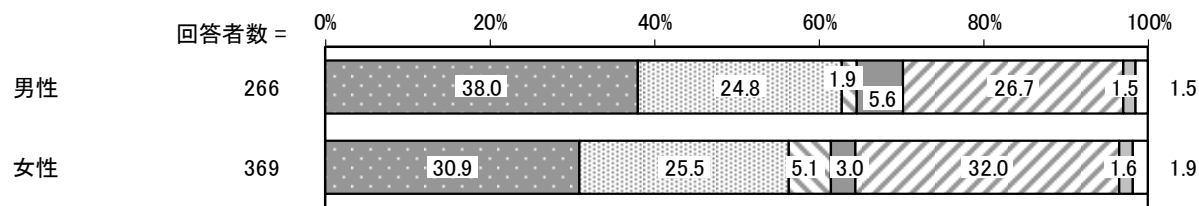
【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。



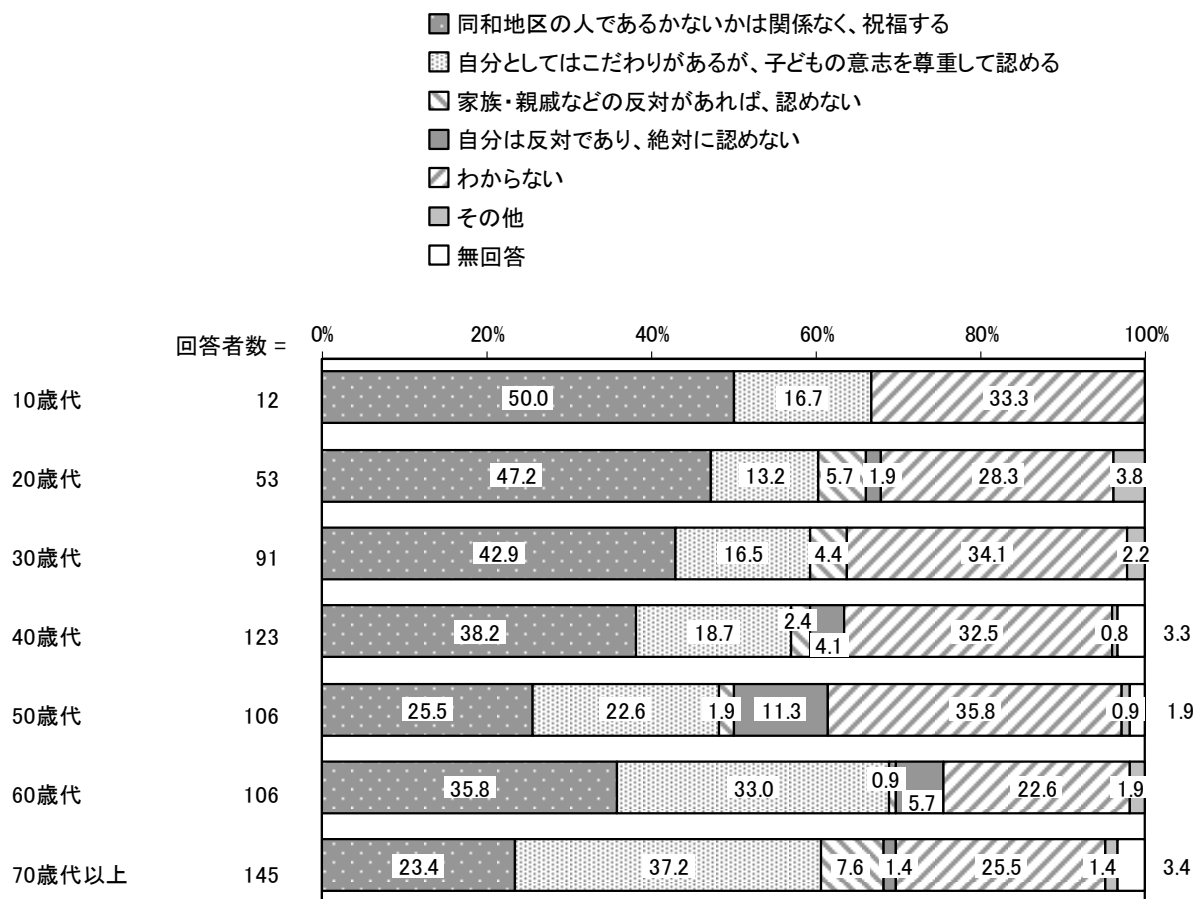
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」の割合が高くなっています。



【年齢別】

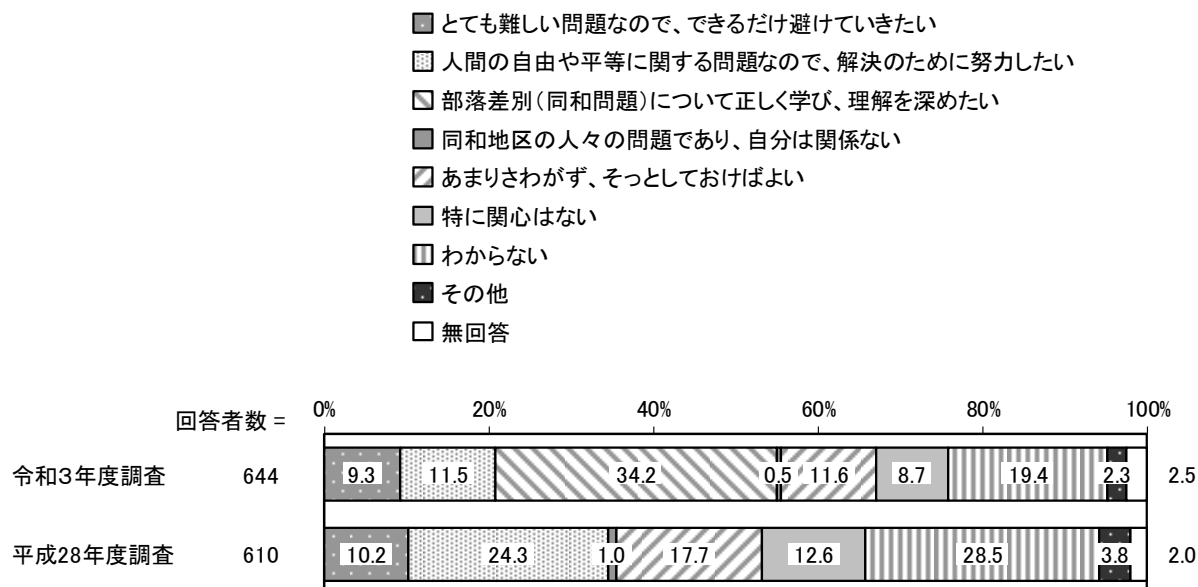
年齢別でみると、年齢が下がるにつれ、「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」の割合が高くなる傾向がみられます。また、50歳代で「自分は反対であり、絶対に認めない」の割合が高くなっています。



問 19 部落差別（同和問題）について、あなたはどのように考えますか。（○は1つまで）

【経年比較】

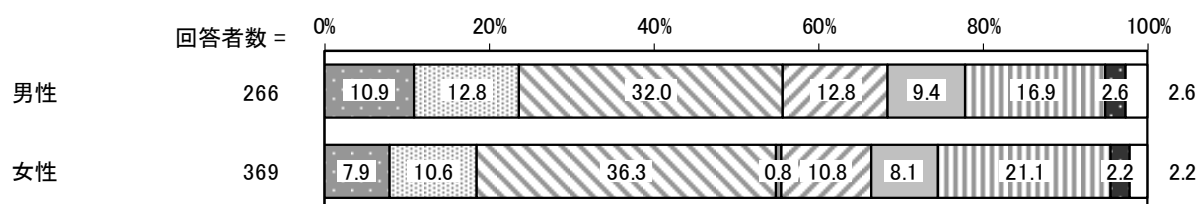
平成 28 年度調査と比較すると、「人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい」「あまりさわがず、そっとしておけばよい」「わからない」の割合が減少しています。



※前回は「部落差別（同和問題）について正しく学び、理解を深めたい」の選択肢がありませんでした。

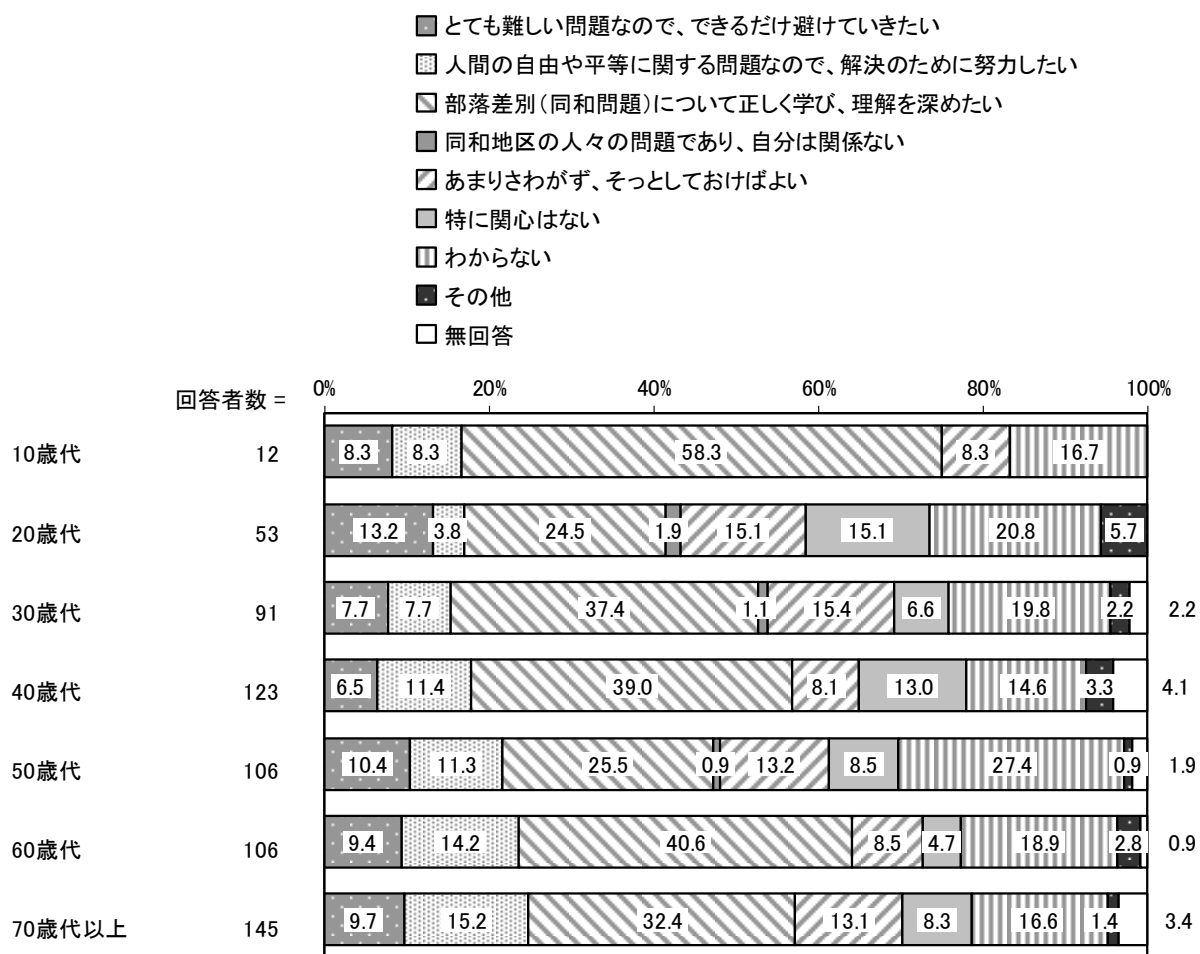
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「部落差別（同和問題）について正しく学び、理解を深めたい」の割合が、50歳代で「わからない」の割合が高くなっています。

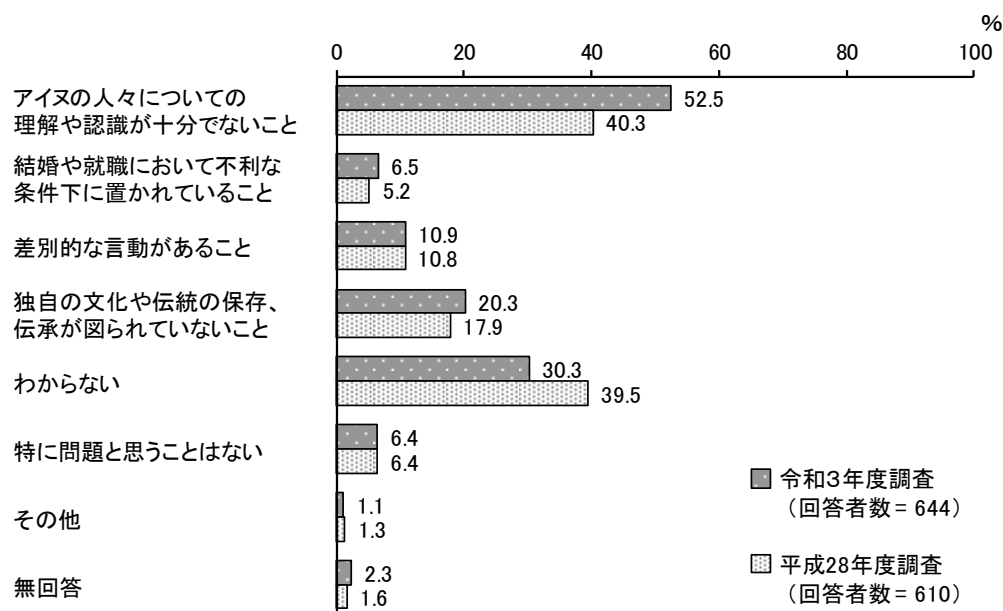


(8) アイヌの人たちの人権についてお聞きします。

問 20 アイヌの人々の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと	結婚や就職において不利な条件下に置かれていること	差別的な言動があること	独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと	わからない	特に問題と思うことはない	その他	無回答
男性	266	54.1	5.3	10.5	22.6	27.4	7.1	1.5	3.4
女性	369	51.8	7.6	11.1	19.0	31.7	6.0	0.8	1.4

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10 歳代で「差別的な言動があること」の割合が高くなっています。

単位：％

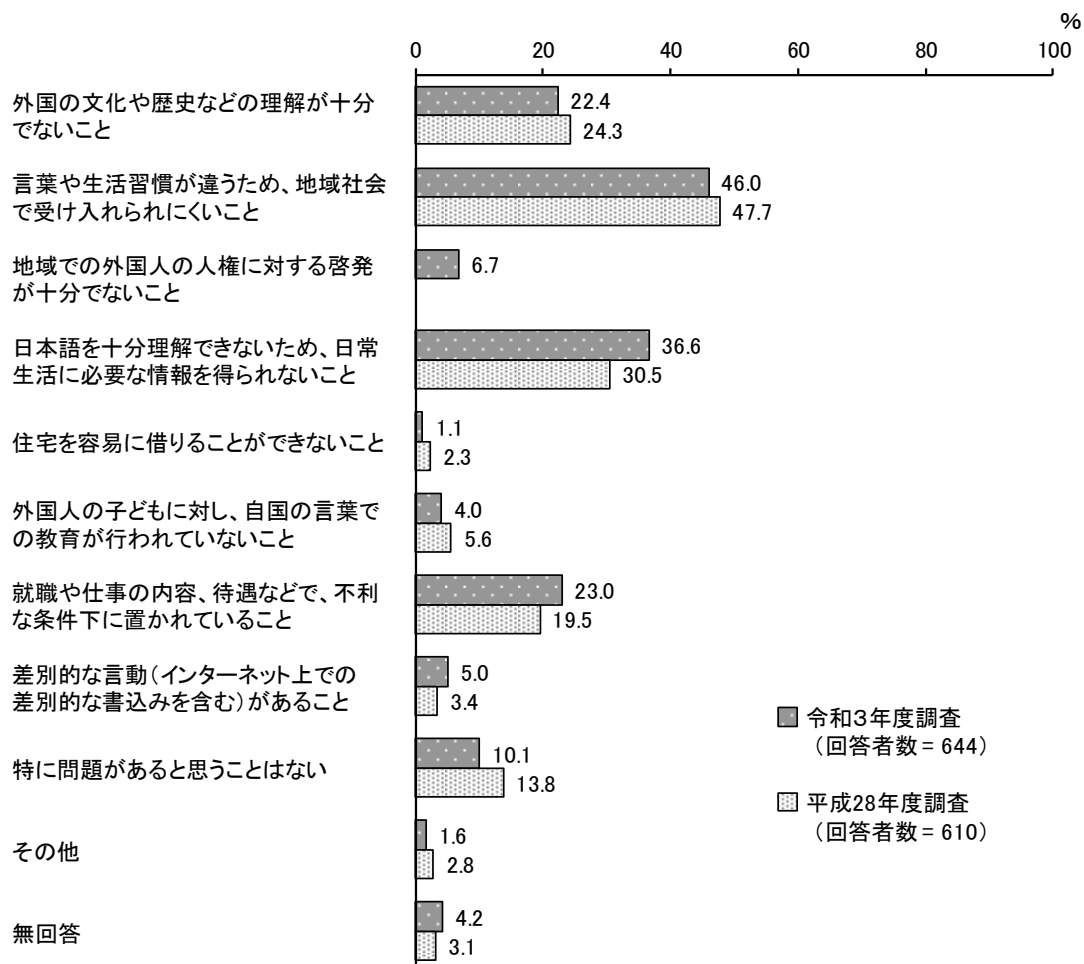
区分	回答者数（件）	アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと	結婚や就職において不利な条件下に置かれていること	差別的な言動があること	独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと	わからない	特に問題と思うことはない	その他	無回答
10 歳代	12	50.0	8.3	41.7	25.0	8.3	8.3	—	—
20 歳代	53	47.2	3.8	5.7	15.1	41.5	5.7	1.9	—
30 歳代	91	56.0	4.4	14.3	16.5	33.0	7.7	—	—
40 歳代	123	54.5	9.8	17.9	18.7	25.2	3.3	1.6	3.3
50 歳代	106	42.5	7.5	5.7	12.3	36.8	10.4	0.9	2.8
60 歳代	106	55.7	5.7	10.4	23.6	24.5	7.5	0.9	1.9
70 歳代以上	145	56.6	6.2	6.2	29.7	29.0	4.8	1.4	3.4

（９）国内に暮らす外国の人たちの人権についてお聞きします。

問 21 外国人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
（○は２つまで）

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと」の割合が増加しています。



※前回は「地域での外国人の人権に対する啓発が十分でないこと」の選択肢がありませんでした。

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「外国の文化や歴史などの理解が十分でないこと」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ女性で「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件下に置かれていること」「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	外国の文化や歴史などの理解が十分でないこと	言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと	地域での外国人の人権に対する啓発が十分でないこと	日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと	住宅を容易に借りることができないこと	外国人の子どもに対し、自国の言葉での教育が行われていないこと	就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件下に置かれていること	差別的な言動（インターネット上での差別的な書き込みを含む）があること	特に問題があると思うことはない	その他	無回答
男性	266	27.8	44.7	9.8	33.1	0.4	3.8	16.9	3.4	11.3	1.5	4.9
女性	369	18.4	47.4	4.6	38.8	1.6	4.3	27.6	6.2	9.2	1.6	3.3

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」「外国の文化や歴史などの理解が十分でないこと」の割合が、20歳代で「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件下に置かれていること」の割合が高くなっています。

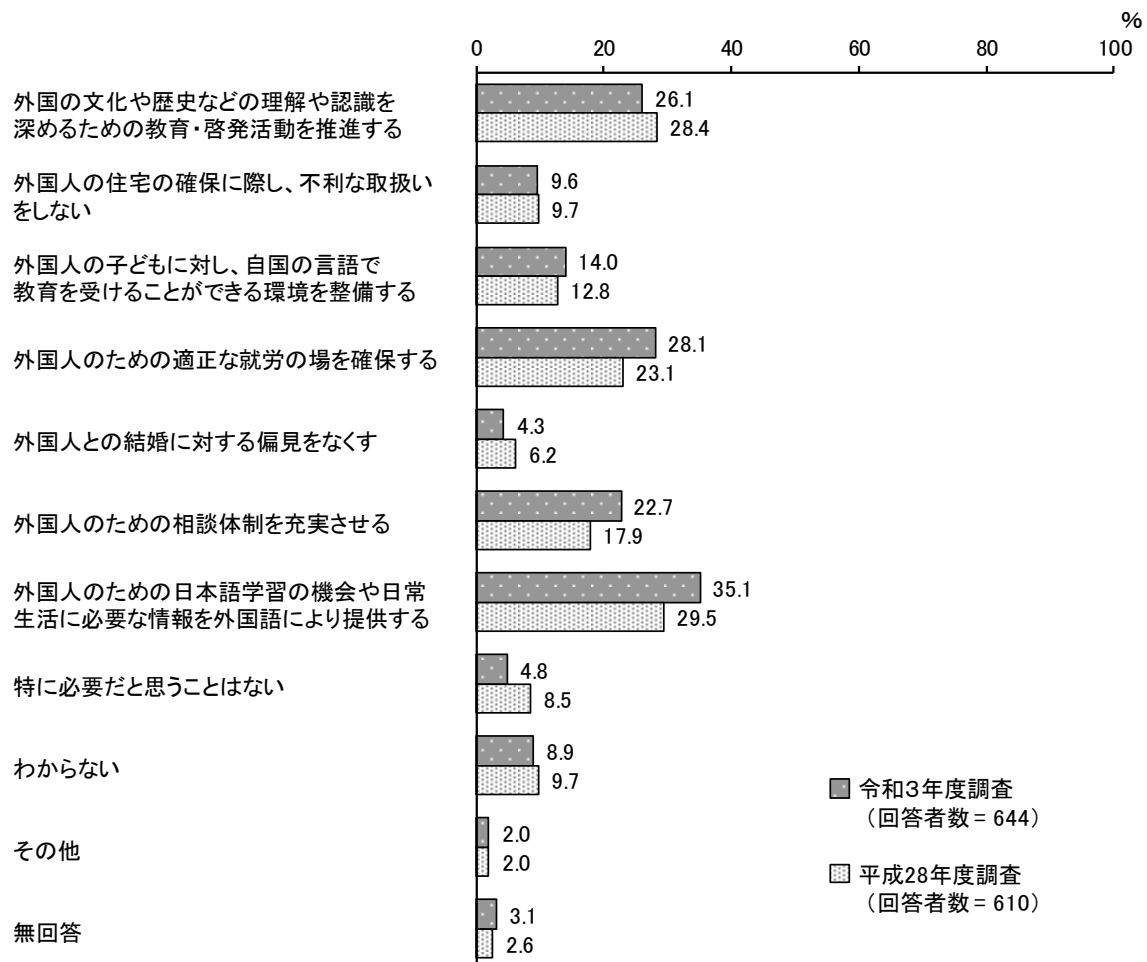
単位：％

区分	回答者数（件）	外国の文化や歴史などの理解が十分でないこと	言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと	地域での外国人の人権に対する啓発が十分でないこと	日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと	住宅を容易に借りることができないこと	外国人の子どもに対し、自国の言葉での教育が行われていないこと	就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件下に置かれていること	差別的な言動（インターネット上での差別的な書き込みを含む）があること	特に問題があると思うことはない	その他	無回答
10歳代	12	33.3	66.7	—	33.3	8.3	—	25.0	16.7	8.3	—	—
20歳代	53	11.3	43.4	3.8	35.8	—	3.8	37.7	13.2	7.5	—	3.8
30歳代	91	20.9	49.5	6.6	41.8	—	5.5	20.9	7.7	6.6	1.1	3.3
40歳代	123	18.7	44.7	7.3	36.6	1.6	4.9	17.9	4.9	9.8	3.3	4.9
50歳代	106	22.6	43.4	2.8	24.5	1.9	4.7	22.6	2.8	16.0	0.9	4.7
60歳代	106	26.4	51.9	10.4	38.7	0.9	6.6	26.4	4.7	6.6	1.9	1.9
70歳代以上	145	26.2	42.8	8.3	40.0	0.7	0.7	20.7	1.4	12.4	1.4	4.8

問 22 外国人の人権を尊重するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。
(○は2つまで)

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「外国人のための日本語学習の機会や日常生活に必要な情報を外国語により提供する」の割合が増加しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「外国の文化や歴史などの理解や認識を深めるための教育・啓発活動を推進する」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「外国人のための適正な就労の場を確保する」「外国人のための日本語学習の機会や日常生活に必要な情報を外国語により提供する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	外国の文化や歴史などの理解や認識を深めるための教育・啓発活動を推進する	外国人の住宅の確保に際し、不利な取扱いをしない	外国人の子どもに対し、自国の言語で教育を受けることができる環境を整備する	外国人のための適正な就労の場を確保する	外国人との結婚に対する偏見をなくす	外国人のための相談体制を充実させる	外国人のための日本語学習の機会や日常生活に必要な情報を外国語により提供する	特に必要だと思うことはない	わからない	その他	無回答
男性	266	32.3	8.6	13.2	23.7	4.5	20.3	31.6	6.4	9.0	3.0	3.0
女性	369	22.0	10.6	14.9	31.7	4.3	24.1	37.9	3.3	8.7	1.4	2.7

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「外国の文化や歴史などの理解や認識を深めるための教育・啓発活動を推進する」の割合が高くなっています。

単位：％

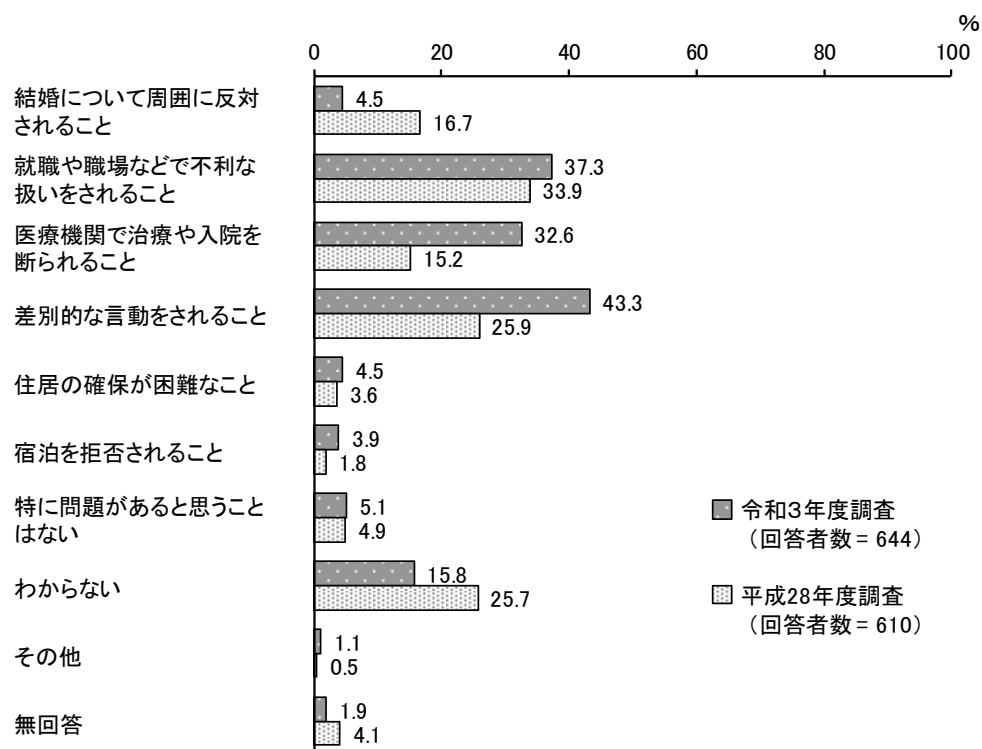
区分	回答者数（件）	外国の文化や歴史などの理解や認識を深めるための教育・啓発活動を推進する	外国人の住宅の確保に際し、不利な取扱いをしない	外国人の子どもに対し、自国の言語で教育を受けることができる環境を整備する	外国人のための適正な就労の場を確保する	外国人との結婚に対する偏見をなくす	外国人のための相談体制を充実させる	外国人のための日本語学習の機会や日常生活に必要な情報を外国語により提供する	特に必要だと思うことはない	わからない	その他	無回答
10歳代	12	50.0	16.7	—	33.3	8.3	16.7	41.7	—	8.3	—	—
20歳代	53	22.6	7.5	17.0	32.1	7.5	24.5	37.7	7.5	1.9	—	1.9
30歳代	91	20.9	15.4	19.8	30.8	4.4	16.5	37.4	3.3	7.7	3.3	1.1
40歳代	123	23.6	8.1	14.6	26.0	3.3	24.4	32.5	2.4	9.8	4.1	4.9
50歳代	106	21.7	3.8	9.4	23.6	4.7	24.5	38.7	7.5	11.3	1.9	2.8
60歳代	106	37.7	14.2	13.2	33.0	4.7	20.8	34.0	2.8	7.5	1.9	1.9
70歳代以上	145	25.5	9.0	14.5	26.9	3.4	23.4	33.1	6.9	10.3	0.7	3.4

(10) 感染者患者（新型コロナウイルス感染症、エイズ等）の人権についてお聞きします。

問 23 感染者患者等の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。（○は2つまで）

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「医療機関で治療や入院を断られること」「差別的な言動をされること」の割合が増加しています。一方、「結婚について周囲に反対されること」「わからない」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「差別的な言動をされること」「医療機関で治療や入院を断られること」「就職や職場などで不利な扱いをされること」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「わからない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	結婚について周囲に反対されること	就職や職場などで不利な扱いをされること	医療機関で治療や入院を断られること	差別的な言動をされること	住居の確保が困難なこと	宿泊を拒否されること	特に問題があると思うことはない	わからない	その他	無回答
男性	266	5.3	34.6	27.1	39.5	3.8	4.1	5.6	20.3	1.5	1.5
女性	369	4.1	39.6	36.9	46.6	4.6	3.5	4.6	12.7	0.8	1.9

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「就職や職場などで不利な扱いをされること」の割合が高くなっています。また、60歳代で「医療機関で治療や入院を断られること」の割合が高くなっています。

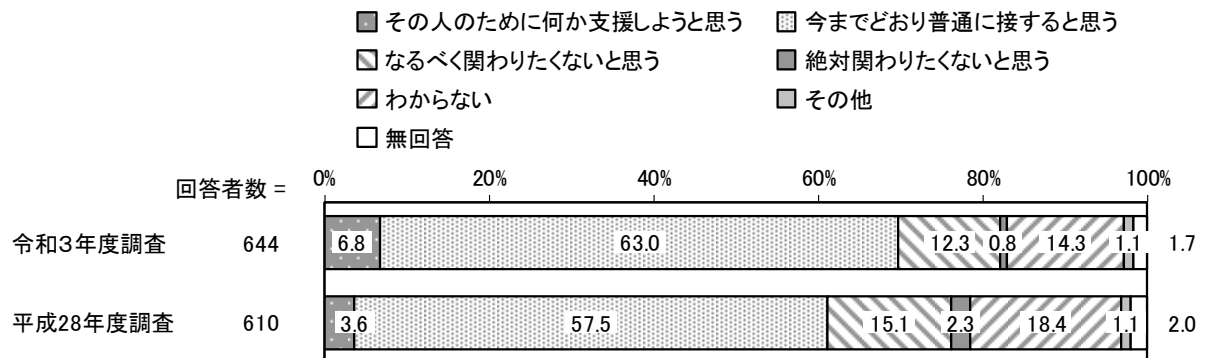
単位：％

区分	回答者数（件）	結婚について周囲に反対されること	就職や職場などで不利な扱いをされること	医療機関で治療や入院を断られること	差別的な言動をされること	住居の確保が困難なこと	宿泊を拒否されること	特に問題があると思うことはない	わからない	その他	無回答
10歳代	12	8.3	58.3	8.3	58.3	—	8.3	—	25.0	—	—
20歳代	53	3.8	37.7	34.0	56.6	3.8	3.8	3.8	5.7	3.8	—
30歳代	91	8.8	35.2	29.7	53.8	6.6	2.2	3.3	15.4	1.1	—
40歳代	123	5.7	35.8	30.1	50.4	2.4	4.1	1.6	13.8	0.8	2.4
50歳代	106	2.8	34.0	32.1	34.0	1.9	4.7	6.6	18.9	0.9	2.8
60歳代	106	2.8	43.4	39.6	41.5	1.9	2.8	5.7	13.2	0.9	0.9
70歳代以上	145	3.4	35.9	33.8	33.1	9.0	4.1	9.0	20.7	0.7	2.8

問 24 あなたの職場や地域に感染症患者等がいる場合、あなたはどのような態度で接すると思いますか。(〇は1つまで)

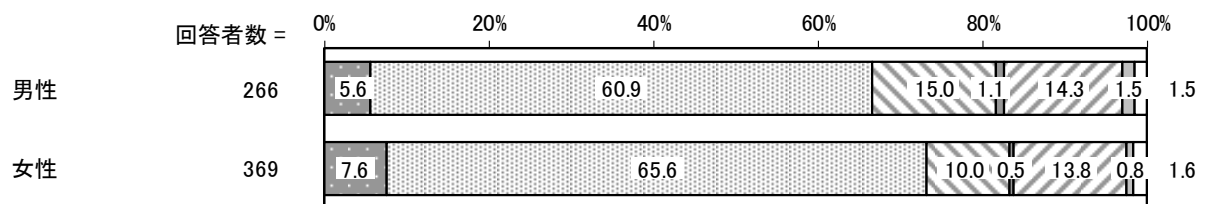
【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「今までどおり普通に接すると思う」の割合が増加しています。



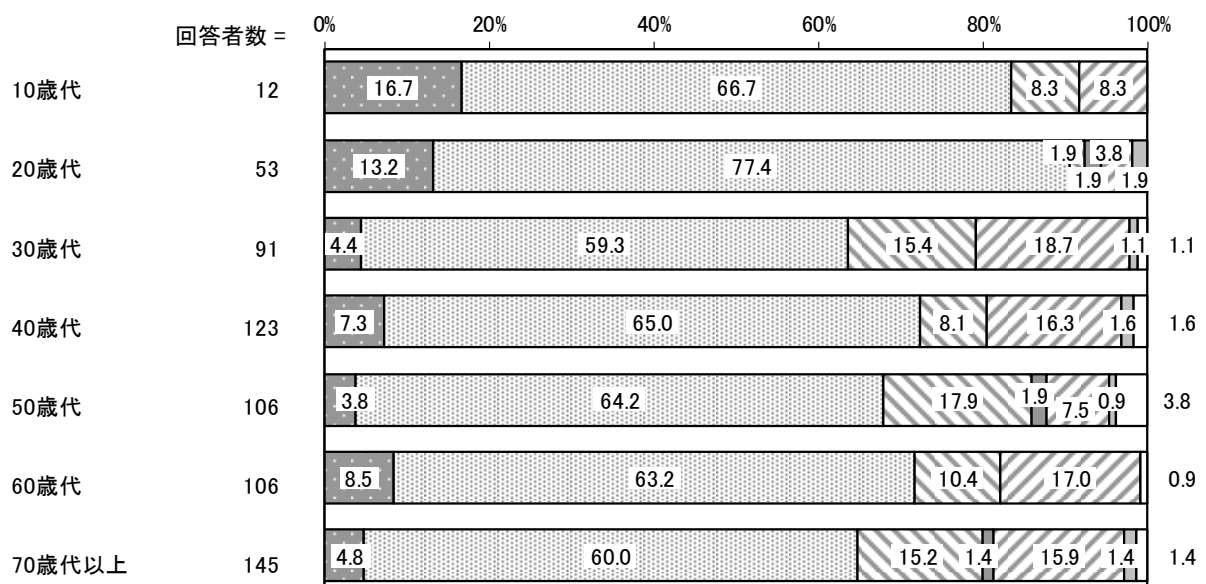
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「なるべく関わりたくないと思う」の割合が高くなっています。



【年齢別】

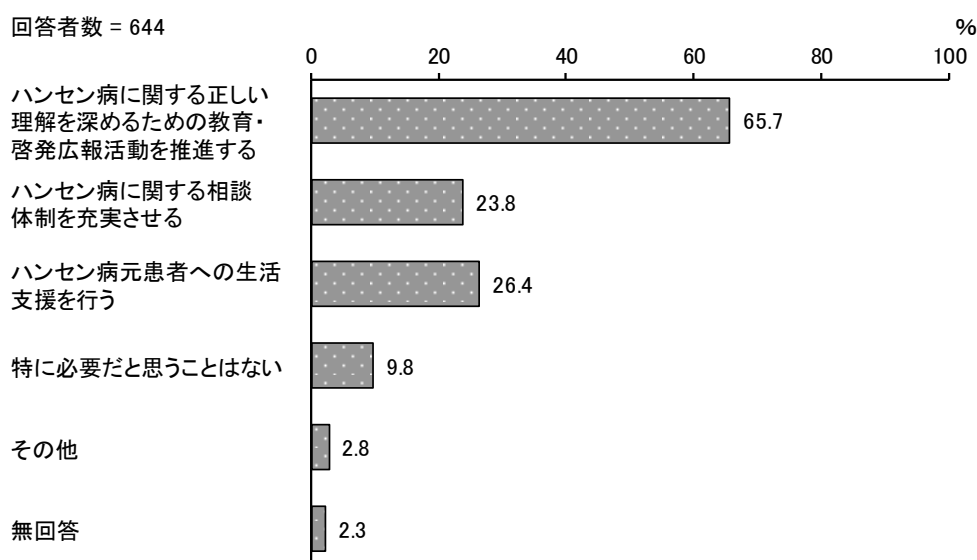
年齢別でみると、20 歳代で「今までどおり普通に接すると思う」の割合が高くなっています。



(11) ハンセン病元患者の人権についてお聞きします。

問 25 ハンセン病元患者の人権を尊重するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

「ハンセン病に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」の割合が65.7%と最も高く、次いで「ハンセン病元患者への生活支援を行う」の割合が26.4%、「ハンセン病に関する相談体制を充実させる」の割合が23.8%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「ハンセン病元患者への生活支援を行う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ハンセン病に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する	ハンセン病に関する相談体制を充実させる	ハンセン病元患者への生活支援を行う	特に必要だと思うことはない	その他	無回答
男性	266	65.0	24.4	22.9	12.4	2.3	2.6
女性	369	66.9	23.3	29.3	7.6	3.0	1.6

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70 歳代以上で「ハンセン病に関する相談体制を充実させる」の割合が、10 歳代で「ハンセン病に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」の割合が高くなっています。

単位：％

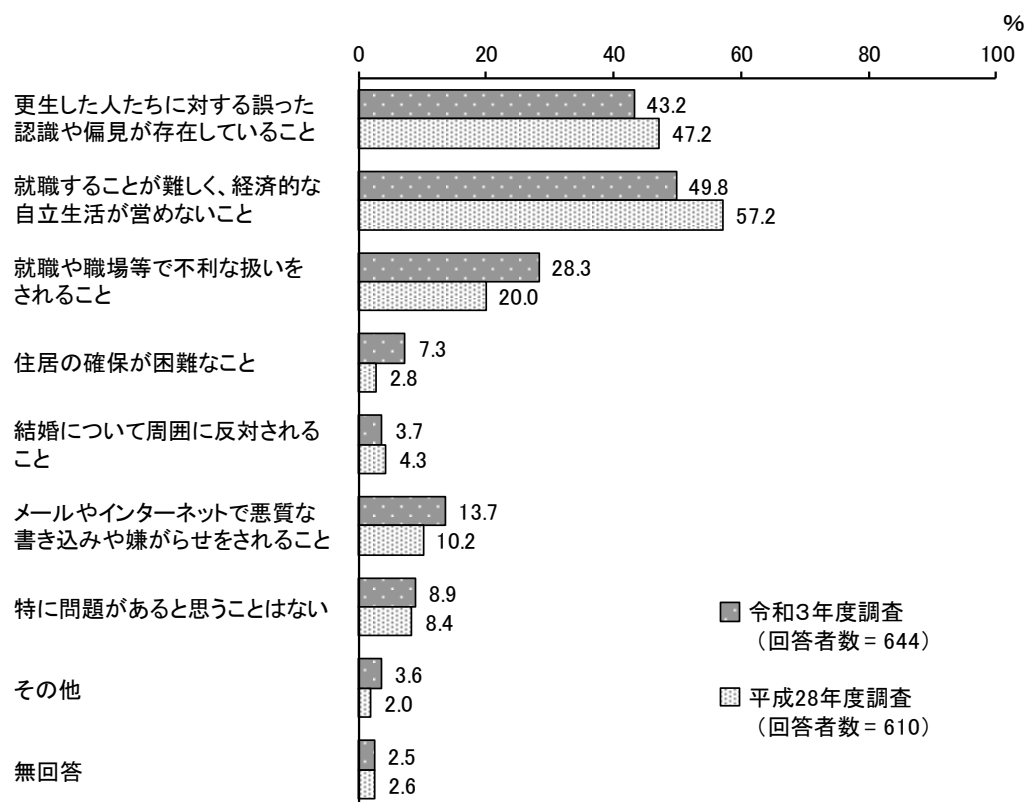
区分	回答者数（件）	ハンセン病に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する	ハンセン病に関する相談体制を充実させる	ハンセン病元患者への生活支援を行う	特に必要だと思うことはない	その他	無回答
10 歳代	12	83.3	25.0	33.3	8.3	—	—
20 歳代	53	67.9	17.0	28.3	11.3	1.9	—
30 歳代	91	67.0	23.1	23.1	11.0	3.3	—
40 歳代	123	69.1	22.0	25.2	4.9	2.4	4.1
50 歳代	106	62.3	17.0	23.6	11.3	3.8	2.8
60 歳代	106	67.9	25.5	26.4	8.5	—	1.9
70 歳代以上	145	61.4	31.0	31.0	13.1	4.1	2.1

(12) 刑を終えて出所した人の人権についてお聞きします。

問 26 罪や非行を犯した人が、罪をつぐなって社会復帰を図ろうとした場合、どのような問題があると思いますか。(〇は2つまで)

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「就職や職場等で不利な扱いをされること」の割合が増加しています。一方、「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「特に問題があると思うことはない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	更生した人たちに對する誤った認識や偏見が存在していること	就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと	就職や職場等で不利な扱いをされること	住居の確保が困難なこと	結婚について周囲に反対されること	メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること	特に問題があると思うことはない	その他	無回答
男性	266	41.4	47.0	28.6	4.5	2.3	10.9	13.5	3.8	3.0
女性	369	45.3	51.8	28.5	9.2	4.3	16.0	5.4	3.5	1.6

【年齢別】

年齢別でみると、大きな差異はみられませんでした。

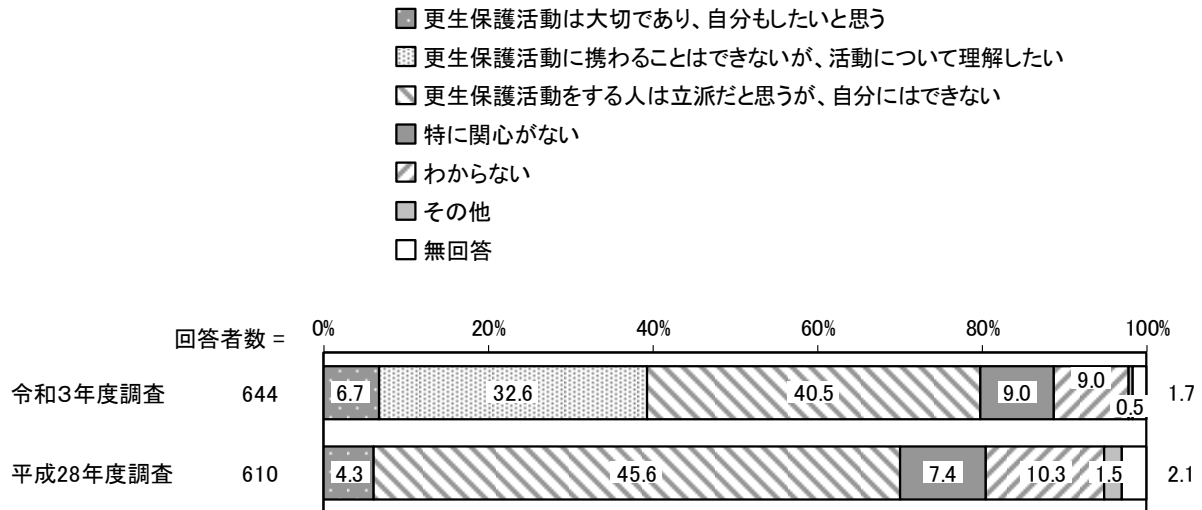
単位：％

区分	回答者数（件）	更生した人たちに對する誤った認識や偏見が存在していること	就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと	就職や職場等で不利な扱いをされること	住居の確保が困難なこと	結婚について周囲に反対されること	メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること	特に問題があると思うことはない	その他	無回答
10 歳代	12	58.3	41.7	33.3	—	8.3	16.7	16.7	—	—
20 歳代	53	37.7	50.9	26.4	5.7	3.8	13.2	9.4	7.5	—
30 歳代	91	38.5	50.5	30.8	4.4	6.6	19.8	12.1	2.2	1.1
40 歳代	123	34.1	53.7	26.0	10.6	4.9	11.4	9.8	5.7	3.3
50 歳代	106	34.9	47.2	27.4	7.5	2.8	14.2	10.4	2.8	3.8
60 歳代	106	55.7	52.8	32.1	6.6	0.9	10.4	3.8	2.8	2.8
70 歳代以上	145	52.4	45.5	27.6	7.6	2.8	14.5	8.3	2.8	1.4

問 27 刑を終えて出所した人たちが社会に復帰するのを援助する「更生保護」活動をしている人たちがいます。もし、「更生保護」活動をしませんかと呼びかけられたら、あなたはどのようにしますか。(〇は1つまで)

【経年比較】

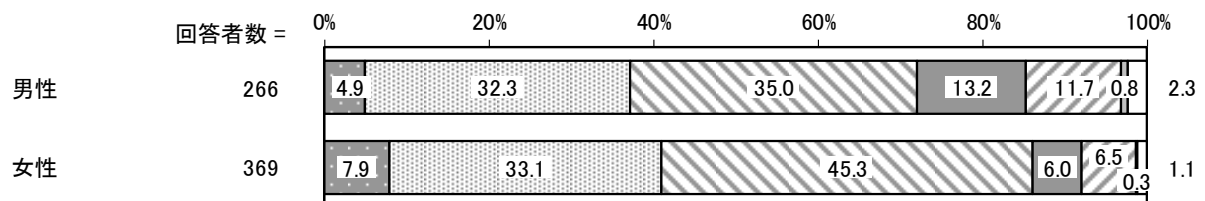
平成28年度調査と比較すると、「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」の割合が減少しています。



※前回は「犯罪の種類や刑の重さによって違うので、なんとも言えない」の選択肢があり、「更生保護活動に携わることはできないが、活動について理解したい」の選択肢がありませんでした。

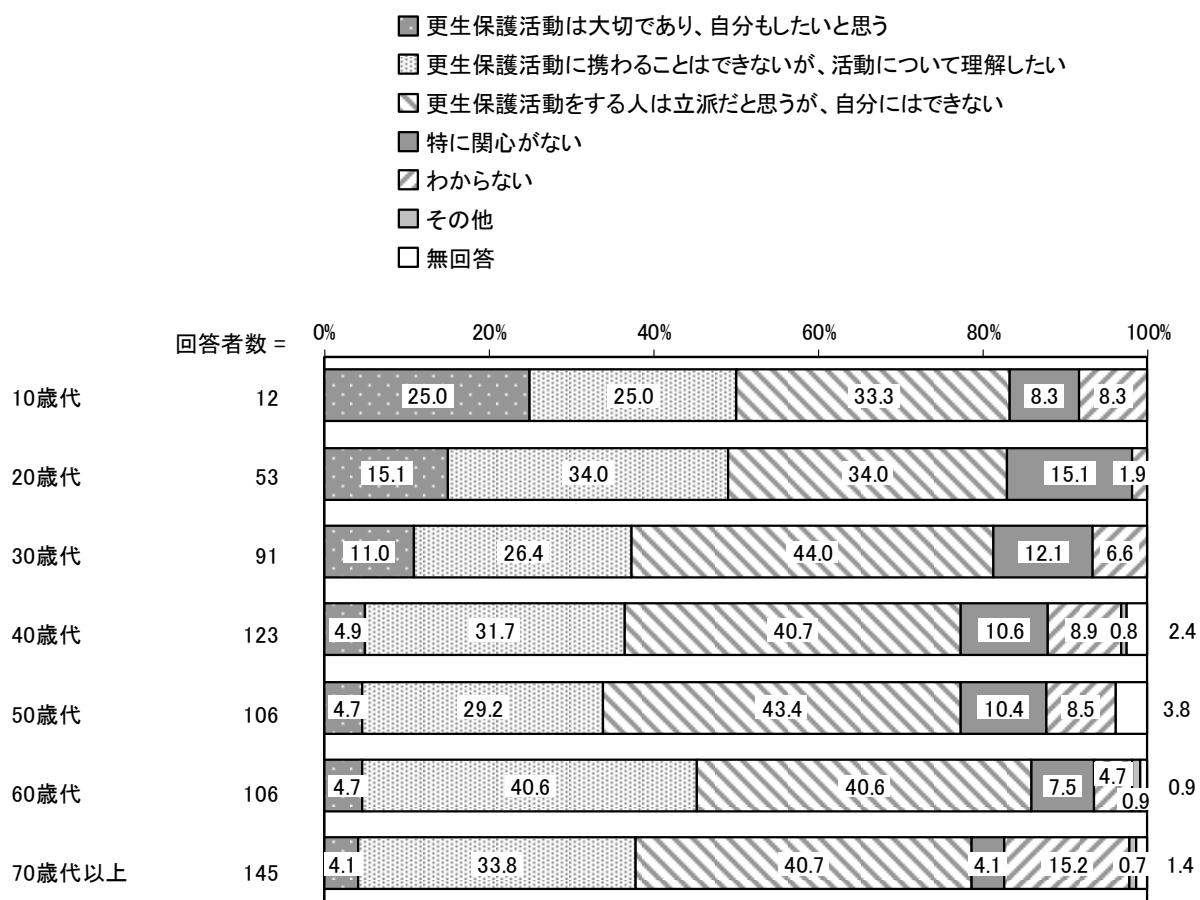
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「特に関心がない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が下がるにつれ、「更生保護活動は大切であり、自分もしたいと思う」の割合が低くなる傾向がみられます。

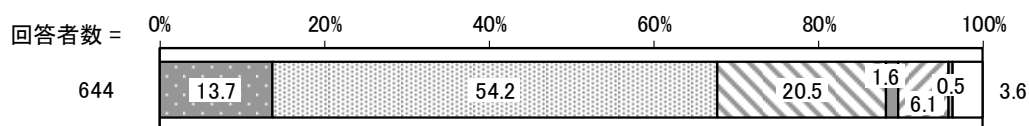


(13) 犯罪被害者とその家族の人権についてお聞きします。

問 28 犯罪被害者とその家族の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は1つまで)

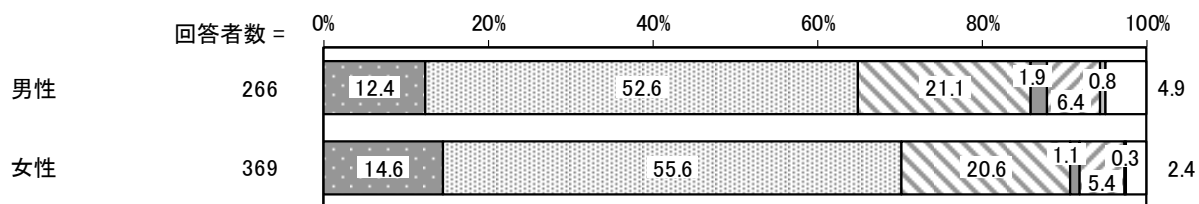
「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「SNS 等で興味本位のうわさや心ない中傷に傷つけられること」の割合が 20.5%、「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」の割合が 13.7%となっています。

- 事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること
- 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること
- SNS 等で興味本位のうわさや心ない中傷に傷つけられること
- 特に問題があると思うことはない
- わからない
- その他
- 無回答



【性別】

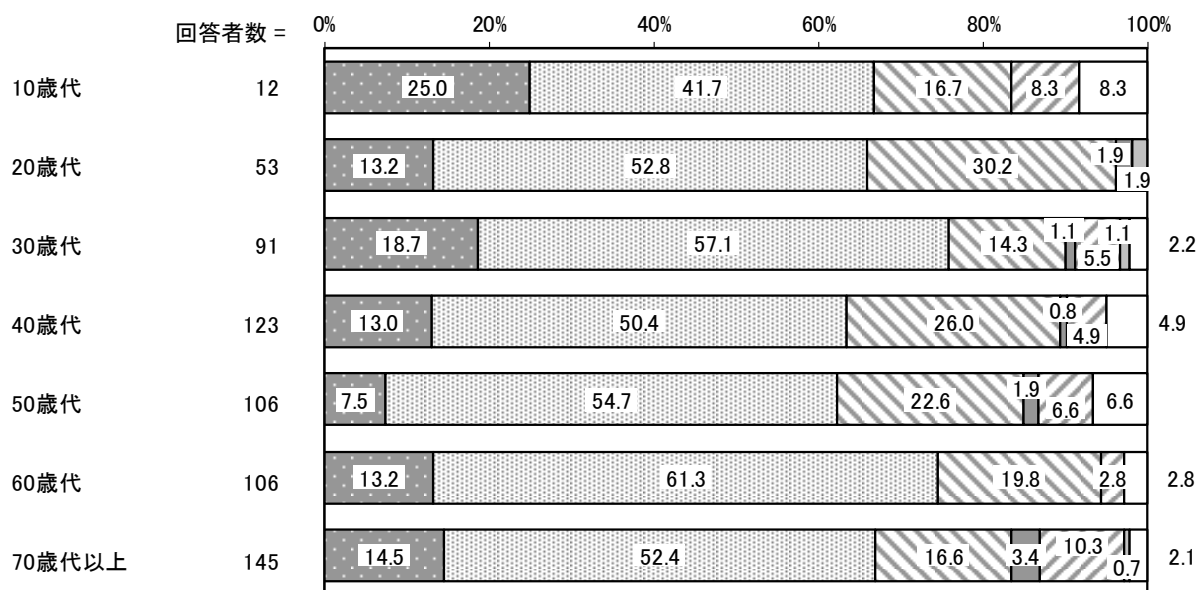
性別でみると、大きな差異はみられませんでした。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」の割合が高くなっています。

- 事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること
- 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること
- SNS等で興味本位のうわさや心ない中傷に傷つけられること
- 特に問題があると思うことはない
- わからない
- その他
- 無回答

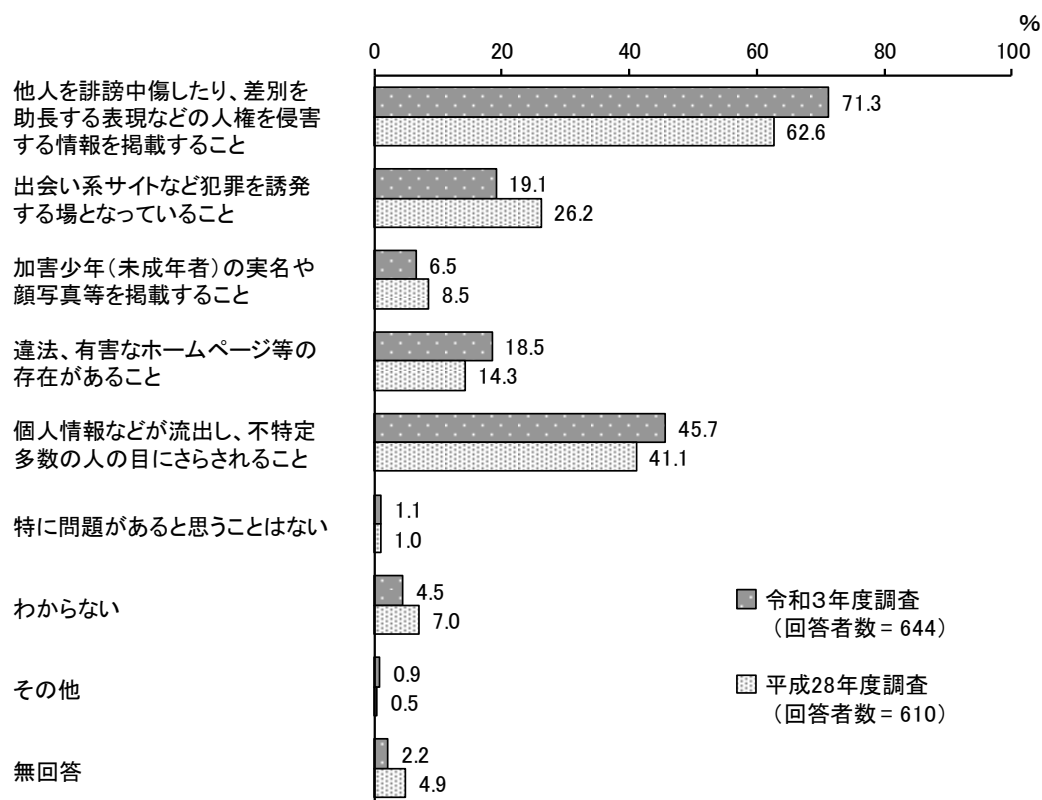


(14) インターネット上の人権侵害についてお聞きします。

問 29 インターネット上の人権侵害について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「他人を誹謗中傷したり、差別を助長する表現などの人権を侵害する情報を掲載すること」の割合が増加しています。一方、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられませんでした。

単位：％

区分	回答者数（件）	他人を誹謗中傷したり、差別を助長する表現などの人権を侵害する情報を掲載すること	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	加害少年（未成年者）の実名や顔写真等を掲載すること	違法、有害なホームページ等の存在があること	個人情報などが流出し、不特定多数の人の目にさらされること	特に問題があると思うことはない	わからない	その他	無回答
男性	266	71.4	19.2	4.9	18.4	45.9	1.1	4.9	1.1	2.3
女性	369	71.5	19.2	7.6	18.4	46.1	1.1	4.1	0.8	1.6

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「加害少年（未成年者）の実名や顔写真等を掲載すること」「個人情報などが流出し、不特定多数の人の目にさらされること」の割合が高くなっています。

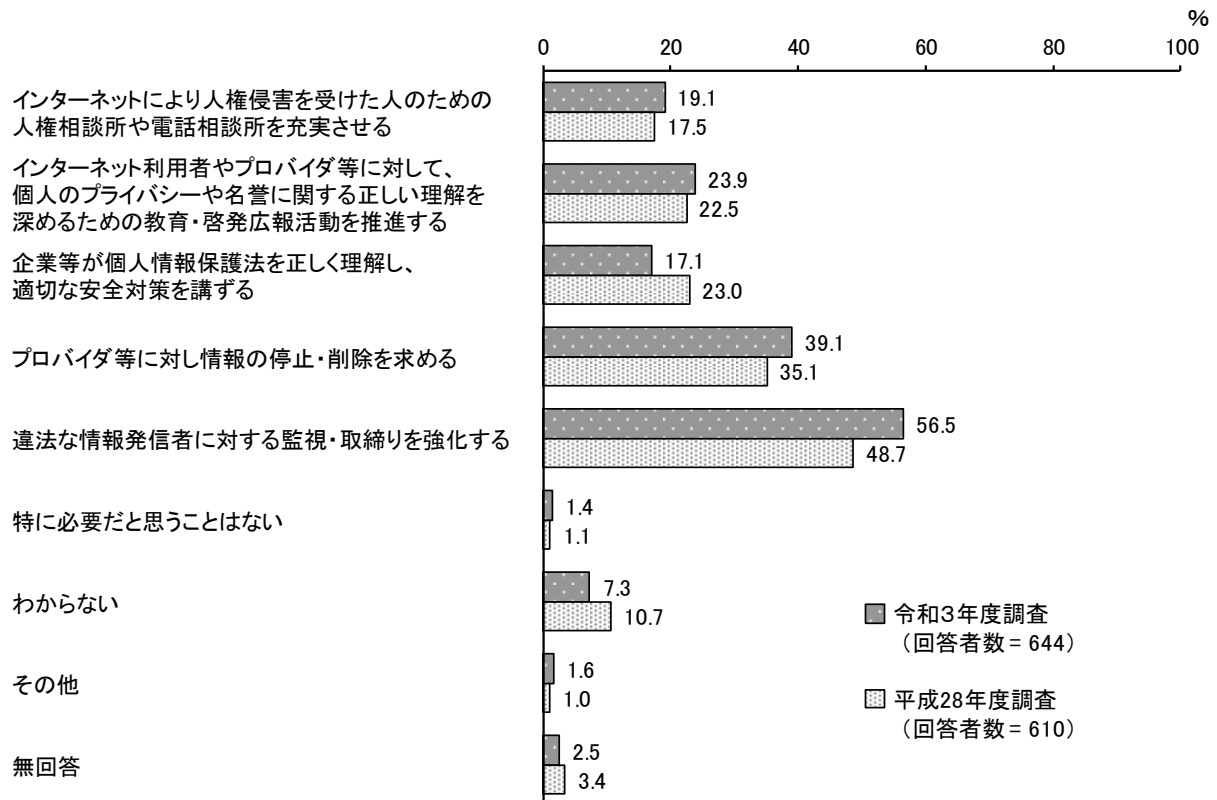
単位：％

区分	回答者数（件）	他人を誹謗中傷したり、差別を助長する表現などの人権を侵害する情報を掲載すること	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	加害少年（未成年者）の実名や顔写真等を掲載すること	違法、有害なホームページ等の存在があること	個人情報などが流出し、不特定多数の人の目にさらされること	特に問題があると思うことはない	わからない	その他	無回答
10歳代	12	83.3	8.3	16.7	—	66.7	—	8.3	—	—
20歳代	53	69.8	20.8	7.5	13.2	49.1	1.9	—	1.9	—
30歳代	91	80.2	12.1	9.9	18.7	50.5	2.2	1.1	1.1	1.1
40歳代	123	73.2	20.3	5.7	22.8	49.6	—	0.8	0.8	3.3
50歳代	106	72.6	17.0	7.5	12.3	45.3	0.9	4.7	0.9	3.8
60歳代	106	68.9	22.6	2.8	26.4	48.1	—	2.8	0.9	0.9
70歳代以上	145	65.5	22.1	5.5	15.9	36.6	2.1	11.7	0.7	1.4

問 30 インターネット上の人権侵害を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」の割合が増加しています。一方、「企業等が個人情報保護法を正しく理解し、適切な安全対策を講ずる」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	インターネットにより人権侵害を受けた人のため の人権相談所や電話相談所を充実させる	インターネット利用者やプロバイダ等に対して、 個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を 深めるための教育・啓発広報活動を推進する	企業等が個人情報保護法を正しく理解し、適切な 安全対策を講ずる	プロバイダ等に対し情報の停止・削除を求める	違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する	特に必要だと思うことはない	わからない	その他	無回答
男性	266	17.3	21.8	15.8	39.5	61.3	1.9	6.8	2.3	1.9
女性	369	19.8	26.0	17.9	39.3	54.2	0.8	7.0	1.1	3.0

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」「企業等が個人情報保護法を正しく理解し、適切な安全対策を講ずる」の割合が、40歳代で「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」の割合が高くなっています。

単位：％

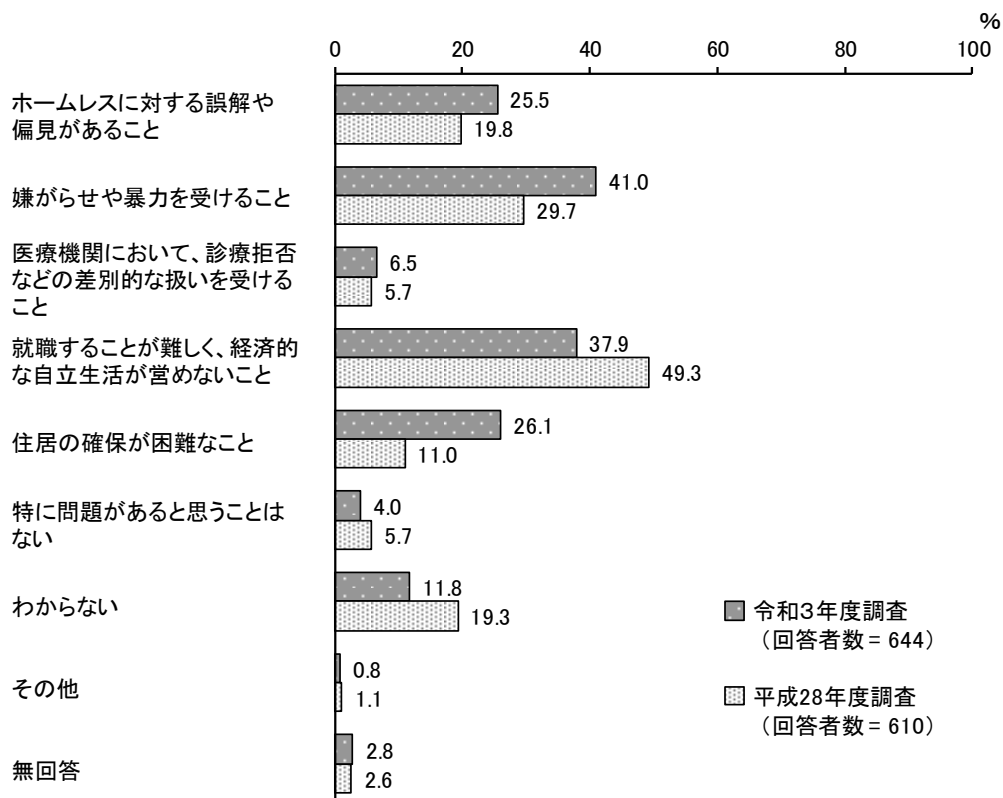
区分	回答者数 (件)	インターネットにより人権侵害を受けた人のため の人権相談所や電話相談所を充実させる	インターネット利用者やプロバイダ等に対して、 個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を 深めるための教育・啓発広報活動を推進する	企業等が個人情報保護法を正しく理解し、適切な 安全対策を講ずる	プロバイダ等に対し情報の停止・削除を求める	違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する	特に必要だと思ふことはない	わからない	その他	無回答
10歳代	12	16.7	41.7	58.3	33.3	25.0	—	8.3	—	—
20歳代	53	11.3	28.3	20.8	30.2	62.3	1.9	1.9	3.8	—
30歳代	91	15.4	26.4	19.8	31.9	62.6	2.2	5.5	4.4	—
40歳代	123	13.0	22.8	13.0	45.5	69.1	1.6	2.4	0.8	4.1
50歳代	106	12.3	25.5	13.2	49.1	61.3	0.9	4.7	—	2.8
60歳代	106	26.4	21.7	22.6	43.4	49.1	—	5.7	0.9	2.8
70歳代以上	145	27.6	21.4	12.4	32.4	46.9	2.1	15.9	1.4	3.4

(15) ホームレスの人権についておたずねします。

問 31 ホームレスの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(○は2つまで)

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「ホームレスに対する誤解や偏見があること」「嫌がらせや暴力を受けること」「住居の確保が困難なこと」の割合が増加しています。一方、「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」「わからない」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」「住居の確保が困難なこと」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「ホームレスに対する誤解や偏見があること」「特に問題があると思うことはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ホームレスに対する誤解や偏見があること	嫌がらせや暴力を受けること	医療機関において、診療拒否などの差別的な扱いを受けること	就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと	住居の確保が困難なこと	特に問題があると思うことはない	わからない	その他	無回答
男性	266	29.7	41.7	4.9	31.2	20.7	7.5	12.0	1.1	1.9
女性	369	22.5	40.9	7.3	43.1	30.4	1.4	11.4	0.5	3.3

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「ホームレスに対する誤解や偏見があること」の割合が、70歳代以上で「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ホームレスに対する誤解や偏見があること	嫌がらせや暴力を受けること	医療機関において、診療拒否などの差別的な扱いを受けること	就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと	住居の確保が困難なこと	特に問題があると思うことはない	わからない	その他	無回答
10歳代	12	50.0	50.0	—	25.0	33.3	—	8.3	—	—
20歳代	53	22.6	49.1	5.7	41.5	26.4	5.7	3.8	1.9	—
30歳代	91	25.3	46.2	7.7	34.1	26.4	5.5	13.2	—	—
40歳代	123	17.1	48.8	8.9	39.0	26.0	2.4	8.9	0.8	4.1
50歳代	106	19.8	34.0	7.5	30.2	19.8	9.4	17.9	0.9	3.8
60歳代	106	28.3	40.6	3.8	34.9	31.1	0.9	12.3	0.9	2.8
70歳代以上	145	33.8	33.8	4.1	47.6	26.9	2.8	11.0	0.7	3.4

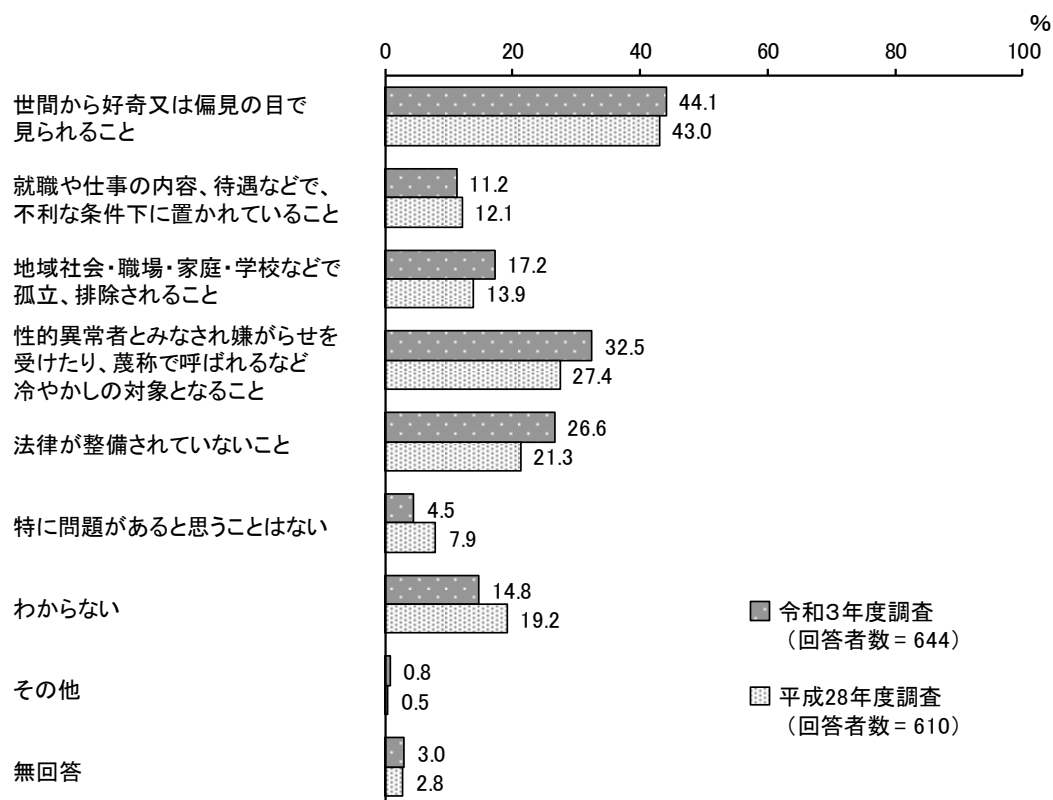
(16) 性的少数者の人権についておたずねします。

※性的指向や性自認に関して性的多数者と異なる人のこと

問 32 性的少数者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(○は2つまで)

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「性的異常者とみなされ嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」「法律が整備されていないこと」の割合が増加しています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられませんでした。

単位：％

区分	回答者数 (件)	世間から好奇又は偏見の目で見られること	就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件下に置かれていること	地域社会・職場・家庭・学校などで孤立、排除されること	性的異常者とみなされ嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること	法律が整備されていないこと	特に問題があると思うことはない	わからない	その他	無回答
男性	266	44.0	10.9	15.4	30.8	25.9	7.1	15.8	0.4	1.9
女性	369	44.7	11.7	18.4	33.9	27.6	2.2	13.8	0.8	3.5

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「世間から好奇又は偏見の目で見られること」の割合が、20歳代で「法律が整備されていないこと」の割合が高くなっています。

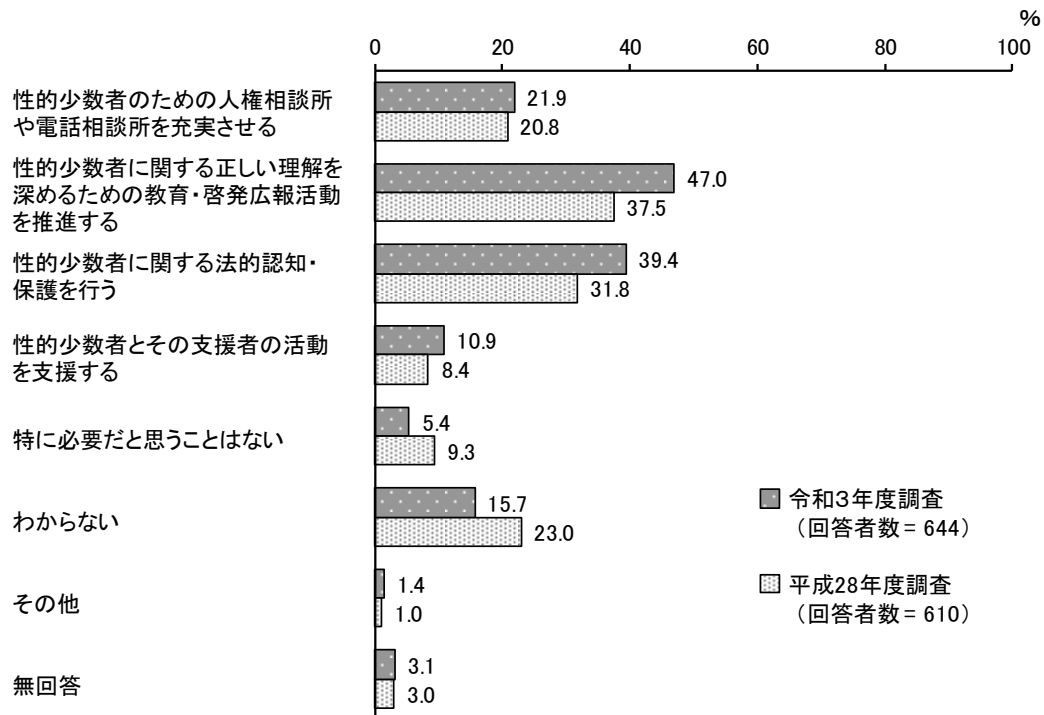
単位：％

区分	回答者数 (件)	世間から好奇又は偏見の目で見られること	就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件下に置かれていること	地域社会・職場・家庭・学校などで孤立、排除されること	性的異常者とみなされ嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること	法律が整備されていないこと	特に問題があると思うことはない	わからない	その他	無回答
10歳代	12	58.3	16.7	25.0	16.7	25.0	8.3	16.7	—	—
20歳代	53	45.3	7.5	13.2	37.7	39.6	7.5	3.8	1.9	—
30歳代	91	51.6	12.1	26.4	33.0	26.4	3.3	8.8	1.1	1.1
40歳代	123	45.5	14.6	17.9	35.0	25.2	2.4	10.6	0.8	3.3
50歳代	106	37.7	9.4	10.4	34.9	25.5	8.5	17.9	0.9	3.8
60歳代	106	45.3	7.5	21.7	33.0	26.4	0.9	17.0	—	2.8
70歳代以上	145	40.7	13.1	12.4	27.6	25.5	4.8	21.4	0.7	4.1

問 33 性的少数者への人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「性的少数者に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」「性的少数者に関する法的認知・保護を行う」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「特に必要だと思うことはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	性的少数者のための人権相談所や電話相談所を充実させる	性的少数者に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する	性的少数者に関する法的認知・保護を行う	性的少数者とその支援者の活動を支援する	特に必要だと思うことはない	わからない	その他	無回答
男性	266	19.9	47.4	38.7	9.8	8.3	15.4	2.3	2.3
女性	369	23.3	47.4	40.4	11.9	3.0	15.4	0.8	3.5

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10 歳代「性的少数者とその支援者の活動を支援する」の割合が、20 歳代で「性的少数者に関する法的認知・保護を行う」の割合が高くなっています。また、70 歳代以上で「性的少数者のための人権相談所や電話相談所を充実させる」の割合が高くなっています。

単位：％

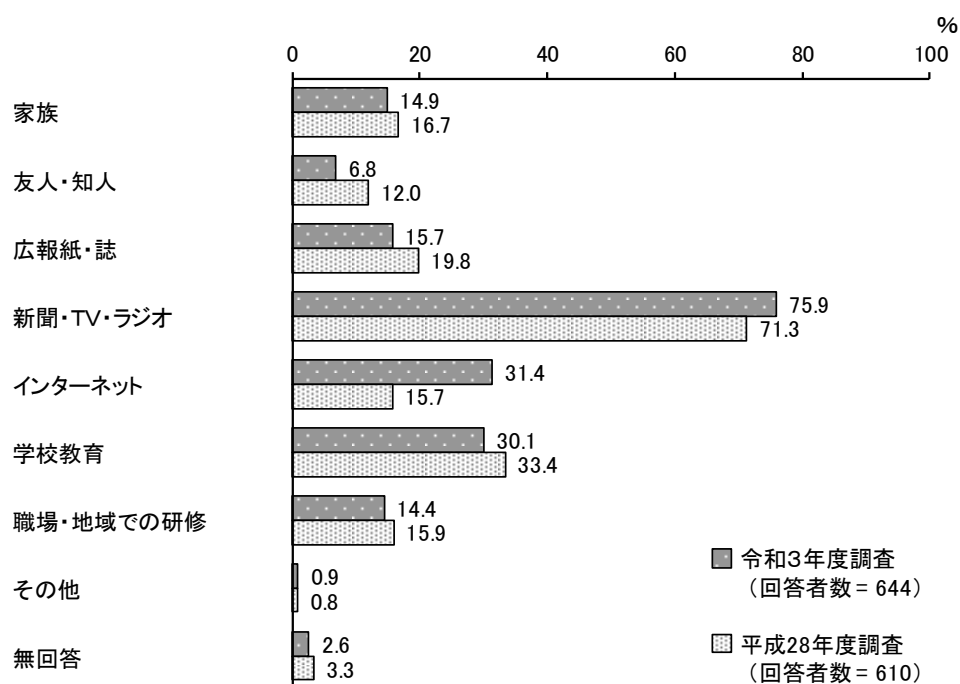
区分	回答者数（件）	性的少数者のための人権相談所や電話相談所を充実させる	性的少数者に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する	性的少数者に関する法的認知・保護を行う	性的少数者とその支援者の活動を支援する	特に必要だと思うことはない	わからない	その他	無回答
10 歳代	12	—	58.3	41.7	25.0	8.3	16.7	—	—
20 歳代	53	15.1	54.7	54.7	3.8	11.3	7.5	3.8	—
30 歳代	91	26.4	51.6	46.2	12.1	4.4	11.0	3.3	—
40 歳代	123	12.2	50.4	42.3	16.3	3.3	12.2	1.6	3.3
50 歳代	106	16.0	39.6	36.8	5.7	11.3	15.1	—	4.7
60 歳代	106	25.5	52.8	40.6	7.5	2.8	17.9	0.9	2.8
70 歳代以上	145	32.4	40.0	28.3	13.8	3.4	22.1	0.7	4.8

(17) 人権教育・人権啓発の方法についておたずねします。

問 34 あなたは、人権問題についての情報や知識は主にどこで（何で）知りましたか。
（あてはまるものすべてに○）

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「インターネット」の割合が増加しています。一方、「友人・知人」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家族」「学校教育」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「インターネット」「職場・地域での研修」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家族	友人・知人	広報紙・誌	新聞・TV・ラジオ	インターネット	学校教育	職場・地域での研修	その他	無回答
男性	266	10.5	5.6	13.9	74.8	35.3	27.1	18.4	0.8	1.5
女性	369	17.6	7.3	17.1	77.2	29.0	32.5	11.9	1.1	3.0

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「学校教育」の割合が、70歳代以上で「広報紙・誌」の割合が高くなっています。

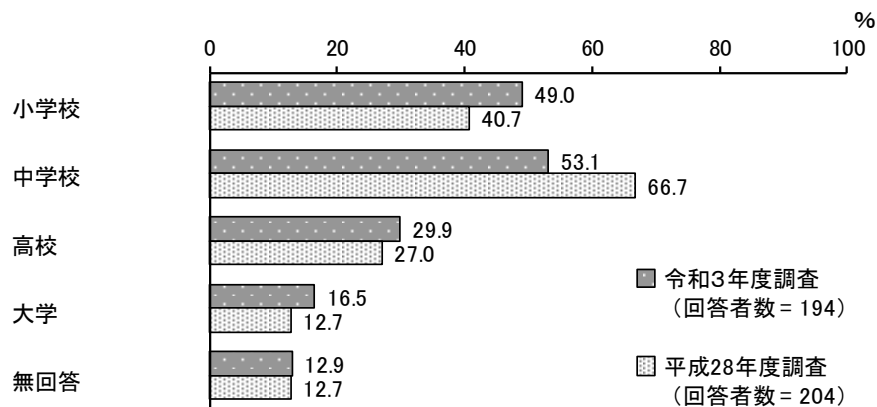
単位：％

区分	回答者数 (件)	家族	友人・知人	広報紙・誌	新聞・TV・ラジオ	インターネット	学校教育	職場・地域での研修	その他	無回答
10歳代	12	8.3	8.3	8.3	58.3	41.7	83.3	—	—	—
20歳代	53	17.0	5.7	1.9	52.8	49.1	77.4	15.1	—	—
30歳代	91	14.3	3.3	9.9	64.8	44.0	46.2	15.4	2.2	1.1
40歳代	123	16.3	6.5	10.6	73.2	47.2	41.5	10.6	0.8	2.4
50歳代	106	13.2	3.8	13.2	81.1	27.4	17.9	16.0	0.9	2.8
60歳代	106	17.9	3.8	17.9	84.0	24.5	13.2	20.8	0.9	1.9
70歳代以上	145	11.7	13.1	29.7	86.2	11.7	10.3	13.1	0.7	4.1

学校校区（①小学校 ②中学校 ③高校 ④大学 に○をつけてください）

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「小学校」の割合が増加しています。一方、「中学校」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「高校」「大学」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	小学校	中学校	高校	大学	無回答
男性	72	47.2	52.8	25.0	8.3	15.3
女性	120	50.0	52.5	33.3	21.7	11.7

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20 歳代で「中学校」の割合が、40 歳代で「小学校」の割合が高くなっています。

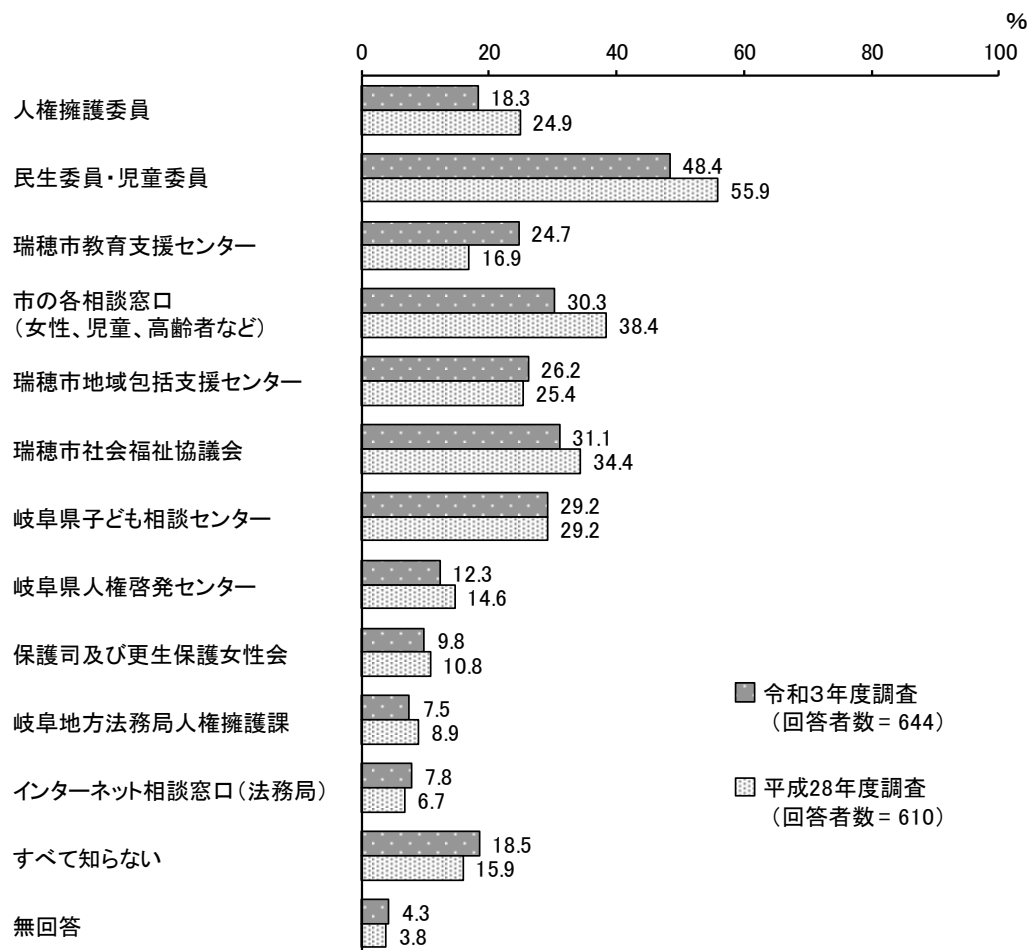
単位：％

区分	回答者数 (件)	小学校	中学校	高校	大学	無回答
10 歳代	10	50.0	50.0	40.0	10.0	30.0
20 歳代	41	46.3	63.4	43.9	29.3	4.9
30 歳代	42	45.2	54.8	26.2	19.0	19.0
40 歳代	51	68.6	52.9	17.6	7.8	9.8
50 歳代	19	47.4	52.6	26.3	15.8	—
60 歳代	14	35.7	35.7	35.7	28.6	14.3
70 歳代以上	15	13.3	33.3	40.0	—	33.3

問 35 人権に関わる機関を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「瑞穂市教育支援センター」の割合が増加しています。一方、「人権擁護委員」「民生委員・児童委員」「市の各相談窓口（女性、児童、高齢者など）」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「瑞穂市教育支援センター」「瑞穂市地域包括支援センター」「岐阜県子ども相談センター」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「すべて知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	人権擁護委員	民生委員・児童委員	瑞穂市教育支援センター	市の各相談窓口（女性、児童、高齢者など）	瑞穂市地域包括支援センター	瑞穂市社会福祉協議会	岐阜県子ども相談センター	岐阜県人権啓発センター	保護司及び更生保護女性会	岐阜地方方法務局人権擁護課	インターネット相談窓口（法務局）	すべて知らない	無回答
男性	266	18.8	43.6	17.3	27.1	20.7	28.6	22.2	10.5	9.4	9.0	7.5	24.1	3.4
女性	369	18.2	52.6	30.6	33.1	30.9	33.1	35.0	13.8	10.3	6.5	8.1	13.6	4.9

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10 歳代で「瑞穂市教育支援センター」の割合が、70 歳代以上で「瑞穂市社会福祉協議会」の割合が高くなっています。

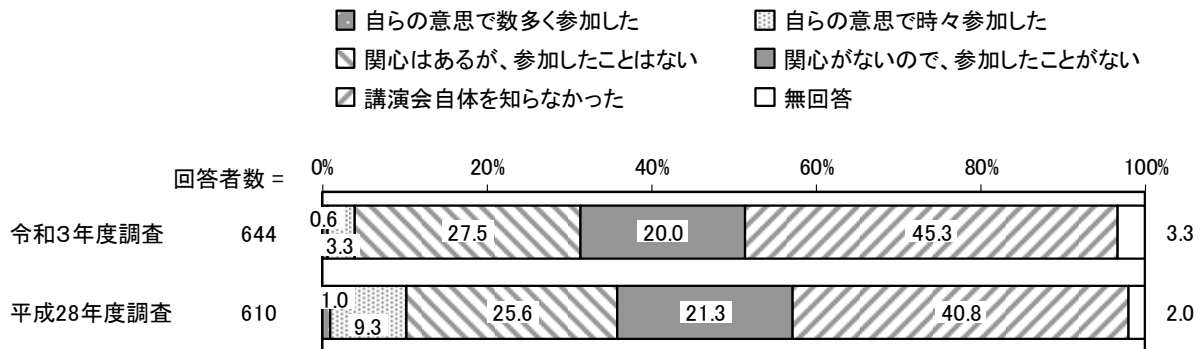
単位：％

区分	回答者数（件）	人権擁護委員	民生委員・児童委員	瑞穂市教育支援センター	市の各相談窓口（女性、児童、高齢者など）	瑞穂市地域包括支援センター	瑞穂市社会福祉協議会	岐阜県子ども相談センター	岐阜県人権啓発センター	保護司及び更生保護女性会	岐阜地方方法務局人権擁護課	インターネット相談窓口（法務局）	すべて知らない	無回答
10 歳代	12	8.3	8.3	50.0	8.3	8.3	16.7	33.3	8.3	—	—	—	25.0	8.3
20 歳代	53	3.8	34.0	28.3	32.1	26.4	15.1	39.6	18.9	5.7	—	15.1	26.4	—
30 歳代	91	7.7	31.9	25.3	27.5	23.1	19.8	33.0	6.6	4.4	4.4	13.2	27.5	1.1
40 歳代	123	10.6	46.3	26.8	34.1	23.6	29.3	40.7	16.3	10.6	4.9	8.1	17.1	4.1
50 歳代	106	16.0	54.7	22.6	36.8	23.6	36.8	26.4	10.4	14.2	7.5	9.4	17.0	3.8
60 歳代	106	30.2	59.4	19.8	34.0	31.1	32.1	24.5	14.2	13.2	11.3	8.5	14.2	5.7
70 歳代以上	145	31.7	57.9	25.5	23.4	31.7	41.4	20.0	10.3	9.7	12.4	0.7	13.1	6.9

問 36 過去3年ぐらいの間に、人権問題に関する講演会に参加しましたか。
(○は1つまで)

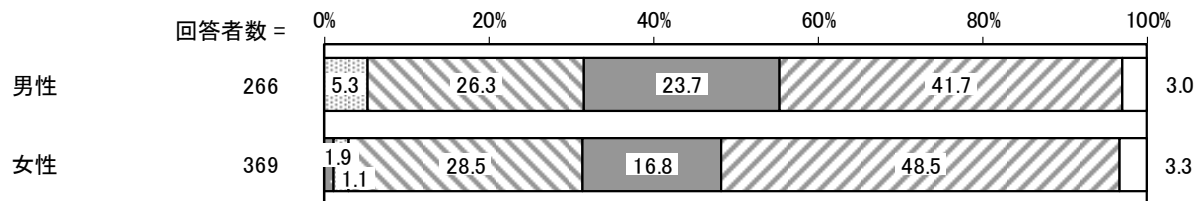
【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「自らの意思で時々参加した」の割合が減少しています。



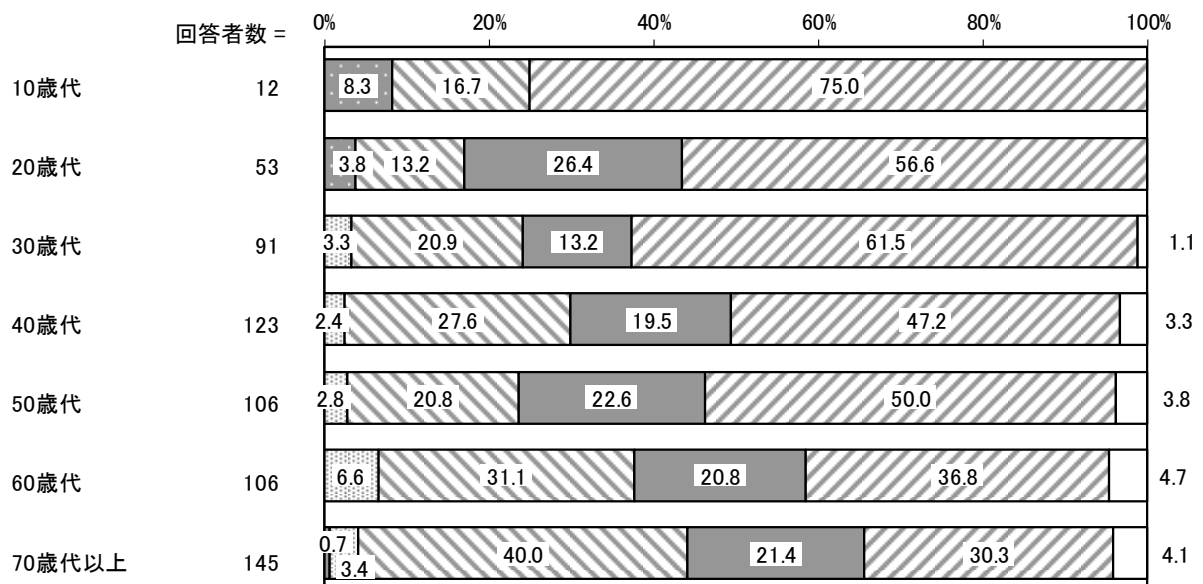
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「関心がないので、参加したことがない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「講演会自体を知らなかった」の割合が高くなっています。



【年齢別】

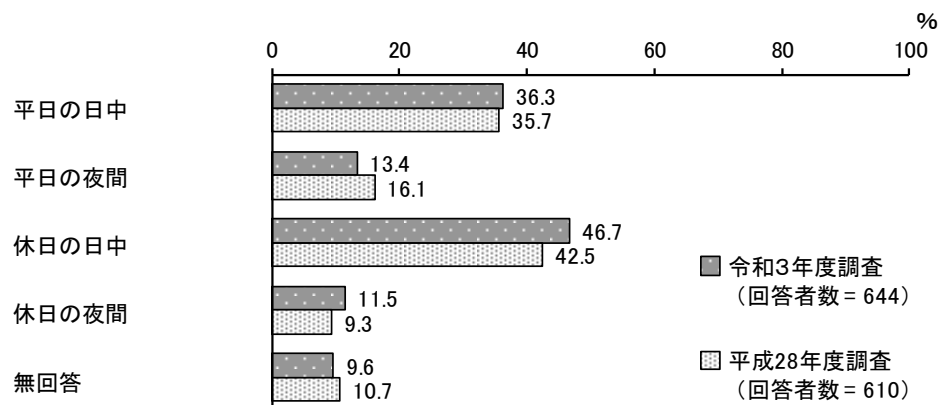
年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「講演会自体を知らなかった」の割合が、70歳代以上で「関心はあるが、参加したことはない」の割合が高くなっています。



問 37 あなたは、人権啓発講演会の開催について、どのような時間帯なら出席できそうですか。（あてはまるものすべてに○）

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「平日の日中」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「平日の夜間」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	平日の 日中	平日の 夜間	休日の 日中	休日の 夜間	無回 答
男性	266	24.1	17.3	50.0	13.5	10.9
女性	369	45.5	10.3	45.3	9.8	8.1

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳代以上で「平日の日中」の割合が、10歳代で「平日の夜間」「休日の夜間」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	平日の 日中	平日の 夜間	休日の 日中	休日の 夜間	無回 答
10歳代	12	8.3	25.0	41.7	41.7	—
20歳代	53	17.0	15.1	62.3	20.8	9.4
30歳代	91	18.7	15.4	67.0	12.1	6.6
40歳代	123	26.8	13.8	56.1	17.9	9.8
50歳代	106	24.5	16.0	51.9	12.3	10.4
60歳代	106	47.2	14.2	44.3	2.8	3.8
70歳代以上	145	66.2	6.9	20.7	5.5	14.5

【人権啓発講演会の参加度別】

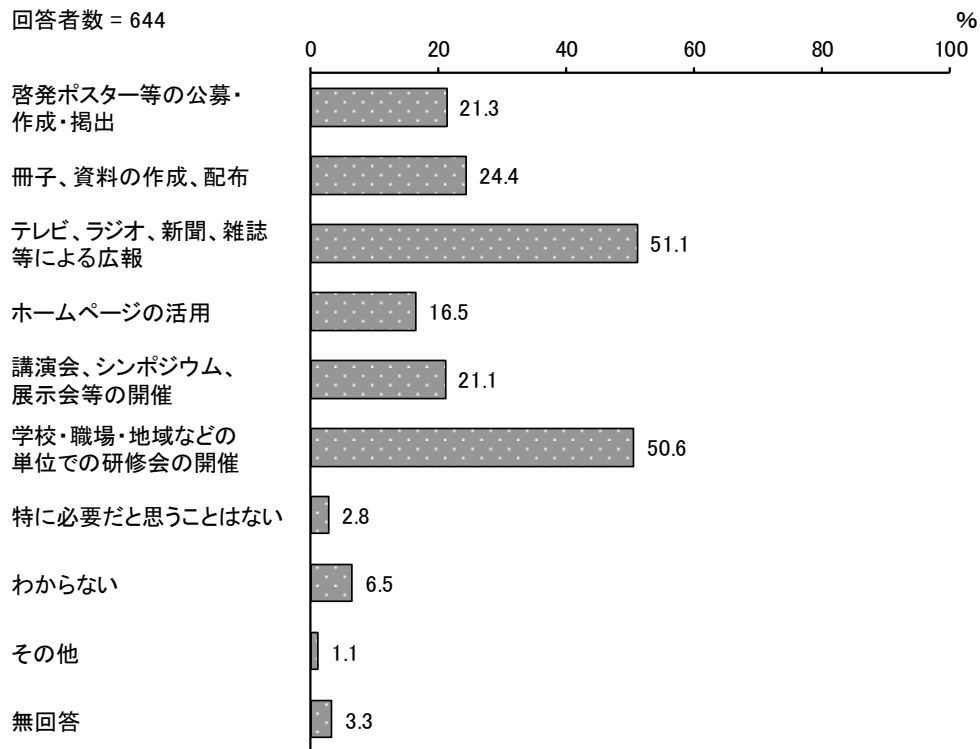
人権啓発講演会の参加度別でみると、他に比べ、自らの意思で時々参加したで「平日の夜間」の割合が高くなっています。また、関心はあるが、参加したことはないで「平日の日中」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	平日の 日中	平日の 夜間	休日の 日中	休日の 夜間	無回 答
自らの意思で数多く参加した	4	25.0	—	75.0	25.0	—
自らの意思で時々参加した	21	42.9	23.8	52.4	23.8	—
関心はあるが、参加したことはない	177	49.7	13.6	41.8	8.5	4.0
関心がないので、参加したことがない	129	28.7	13.2	38.8	13.2	17.1
講演会自体を知らなかった	292	32.9	13.7	54.8	11.6	6.5

問 38 人権教育・人権啓発の方法について、人権侵害に関する市民の皆さんの認識を深めるために特にどのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」の割合が 50.6%、「冊子、資料の作成、配布」の割合が 24.4%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	啓発ポスター等の公募・作成・掲出	冊子、資料の作成、配布	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報	ホームページの活用	講演会、シンポジウム、展示会等の開催	学校・職場・地域などの単位での研修会の開催	特に必要だと思うことはない	わからない	その他	無回答
男性	266	22.6	22.2	45.1	15.8	22.9	47.0	4.5	9.4	1.9	3.0
女性	369	20.3	26.0	55.8	17.3	20.1	53.9	1.4	4.3	0.5	3.3

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10 歳代で「冊子、資料の作成、配布」「わからない」の割合が、20 歳代で「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」の割合が高くなっています。また、70 歳代以上で「講演会、シンポジウム、展示会等の開催」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	啓発ポスター等の公募・作成・掲出	冊子、資料の作成、配布	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報	ホームページの活用	講演会、シンポジウム、展示会等の開催	学校・職場・地域などの単位での研修会の開催	特に必要だと思ふことはない	わからない	その他	無回答
10 歳代	12	25.0	41.7	41.7	16.7	—	58.3	—	16.7	—	—
20 歳代	53	18.9	20.8	41.5	18.9	11.3	69.8	3.8	1.9	3.8	—
30 歳代	91	20.9	14.3	52.7	17.6	19.8	62.6	3.3	5.5	2.2	1.1
40 歳代	123	17.1	22.8	48.0	24.4	19.5	60.2	—	6.5	1.6	3.3
50 歳代	106	17.9	18.9	55.7	21.7	19.8	43.4	5.7	6.6	—	2.8
60 歳代	106	26.4	26.4	57.5	17.0	22.6	49.1	3.8	4.7	0.9	0.9
70 歳代以上	145	24.8	33.8	49.0	4.8	29.0	35.2	2.1	9.0	—	7.6

